

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-8

< 第16週 > 風しんの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同
時期と比較してかなり多い / その他最新動向

< 3月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.9-10

< 風しん > 風しんの発生状況

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第16週までの累積報告数は180
例(昨年同時期141例)である



病原体情報
P.11-12

患者から分離・検出された病原体報告 - 冬季の感染性胃腸炎関
連ウイルス 2003/04シーズン / インフルエンザウイルス 2003/04
シーズン



速報
P.13-14

冬季におけるA群コクサッキーウイルス16型の局地的流行 - 秋田
県 / 埼玉県における風しんの流行状況とその対策



海外感染症情報
P.15-16

シエラレオネのKenema地区でラッサ熱発生 / バングラデシュ
(Faridpur)でのニパウイルス感染、診断確定 / 中国でのSARS
患者発生



感染症の話
P.17

< 今週はお休みさせていただきます >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(16週)
P.18-24



グラフ総覧(3月)
P.25-29



3月のデータ
P.30-33



16週のデータ
P.34-43



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)

第16週コメント 4月22日集計分

全数報告の感染症

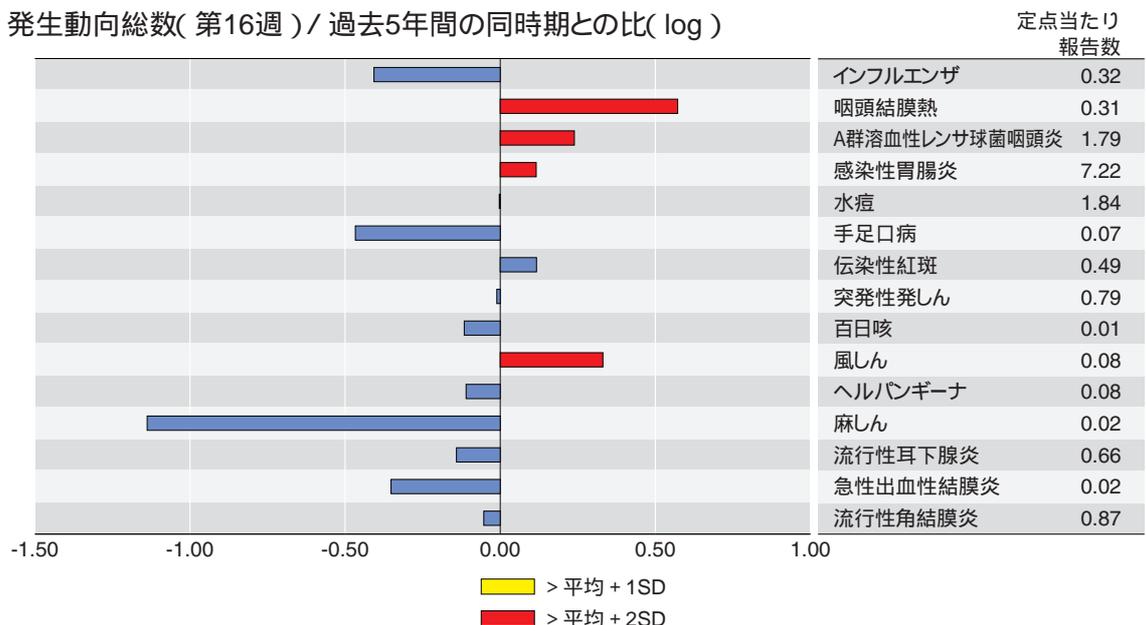
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢 12例(推定感染地域: 国内4例、インド3例、カンボジア2例、インドネシア1例、フィリピン1例、バングラデシュ1例)
 - 腸チフス 2例(推定感染地域: 国内1例、不明1例)
 - パラチフス 1例(推定感染地域: インド)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 43例(うち有症者34例)
 - 報告の多い都道府県: 香川県(10例)、岡山県(7例)、石川県(6例)、三重県(5例)
 - 血清型・毒素型: O157 VT2(27例)、O157 VT1・VT2(5例)、O26 VT1(2例)、その他(9例)
 - 年齢: 10歳未満(12例)、10代(4例)、20代(6例)、30代(2例)、40代(2例)、50代(3例)、60代(6例)、70歳以上(8例)
 - 4類感染症: オウム病 3例(推定感染源: いずれもインコ)
 - つつが虫病 4例(秋田県(1例)、長野県(1例)、鹿児島県(2例))
 - ライム病 1例(推定感染地域: 国内)
 - A型肝炎 1例(推定感染地域: 国内)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 6例(推定感染地域: 国内2例、韓国1例、タイ1例、フィリピン/マレーシア/シンガポール1例、不明1例)
 - ウイルス性肝炎 5例
 - B型3例(推定感染経路: 性的接触1例、性的接触/母子感染1例、不明1例)
 - C型2例(推定感染経路: 静注薬物使用1例、不明1例)
 - クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性)
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(56歳(死亡))
 - 後天性免疫不全症候群 15例(無症候11例、AIDS 3例、その他1例)
 - 推定感染経路: 性的接触13例(異性間5例、同性間8例)、不明2例
 - 推定感染地域: 国内14例、不明1例
 - 梅毒 3例(いずれも早期顕症II期)
 - バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3例
 - 遺伝子型: *VanB* 1例 菌検出検体: 尿
 - 遺伝子型: *VanC* 1例 菌検出検体: 静脈血
 - 遺伝子型: 不明1例 菌検出検体: 尿
 - 急性脳炎 3例(単純ヘルペスウイルス2例(39歳、47歳)、ロタウイルス1例(7歳))
- (補)他に、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群1例の報告があったが、削除予定。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

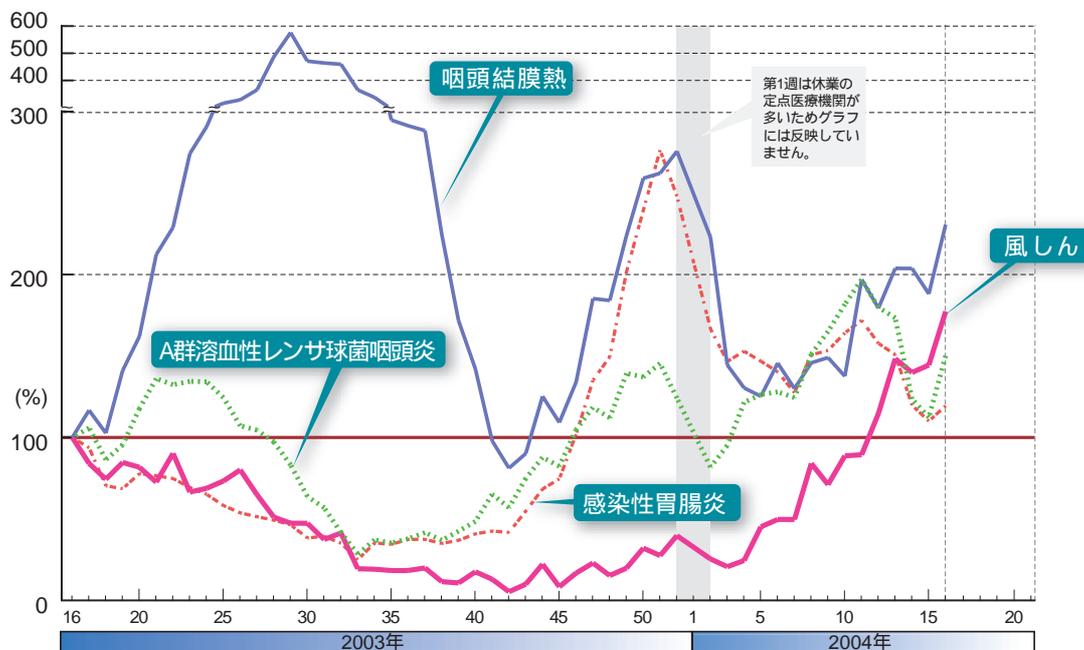
発生動向総数(第16週) / 過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多く、都道府県別では宮崎県(1.4)、富山県(1.1)、徳島県(1.0)、鳥取県(1.0)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第11週に過去10年間で最高の値となった後減少し続けていたが、第16週は増加した。過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では新潟県(4.8)、山形県(3.7)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では福井県(24.5)、宮崎県(16.3)、石川県(15.7)、富山県(15.4)、鳥取県(15.4)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微増し、都道府県別では、沖縄県(0.6)、石川県(0.3)、兵庫県(0.3)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第9週から緩やかに増加しており、第16週も増加した。都道府県別では新潟県(1.2)、千葉県(1.1)が多い。風しんの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では群馬県(0.5)、大分県(0.5)、鹿児島県(0.4)が多い(「注目すべき感染症」参照)。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微増し、都道府県別では和歌山県(0.6)、熊本県(0.6)、愛媛県(0.4)が多い。RSウイルス感染症の報告数は、32都道府県から合計50例であった。

主要疾患の過去1年間の週別定点当たり報告数の動き(第16週)



2003年第16週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、過去1年間の増減を表している。

3月コメント

性感染症について(4月15日集計分) 性感染症定点数: 924

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、「尖形コンジローム」の疾患名が「尖圭コンジローマ」に変更になりました。

2004年3月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.16(男1.41、女1.75)、2004年3月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.34(男1.43、女1.91)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.88(男0.37、女0.51)、尖圭コンジローマが0.56(男0.31、女0.25)、淋菌感染症が1.49(男1.19、女0.31)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。男女ともに冬季の減少が止まり、夏に向けて再び増加が始まる傾向がみられる(25～28ページグラフ総覧参照)。過去4年間の同時期と比較すると、男性では尖圭コンジローマが平均+2標準偏差(SD)を超え、女性では性器ヘルペスウイルス感染症と尖圭コンジローマが平均+1SDを超えた(図2)。

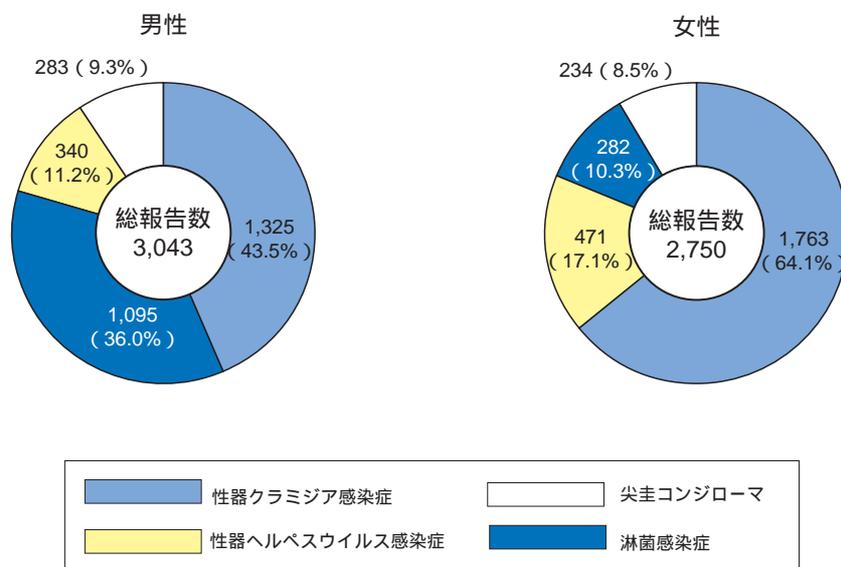
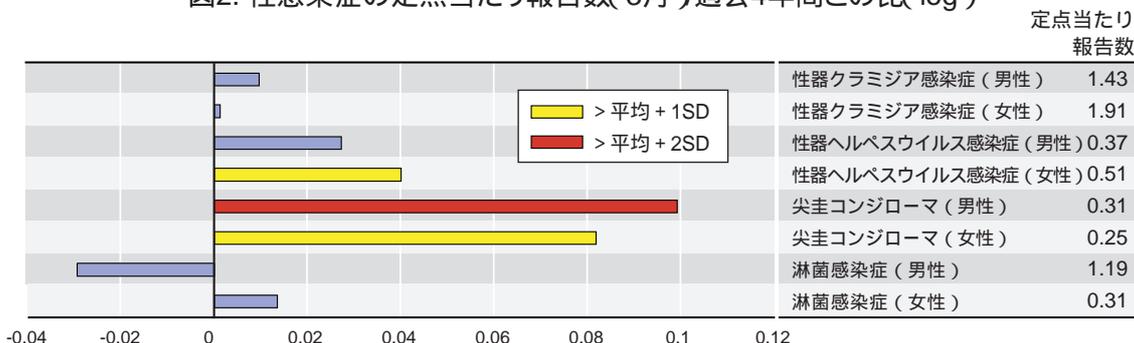


図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(3月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(3月)過去4年間との比(log)



当該月と過去4年間の平均(過去3年間の前月、当該月、後月の合計9月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると(図3) いずれの疾患でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少ない。淋菌感染症では男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数の方が多い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15～29歳)での各性感染症の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。前月に比べ、女性で上昇傾向がみられる。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報)4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級別・性別グラフ(3月)

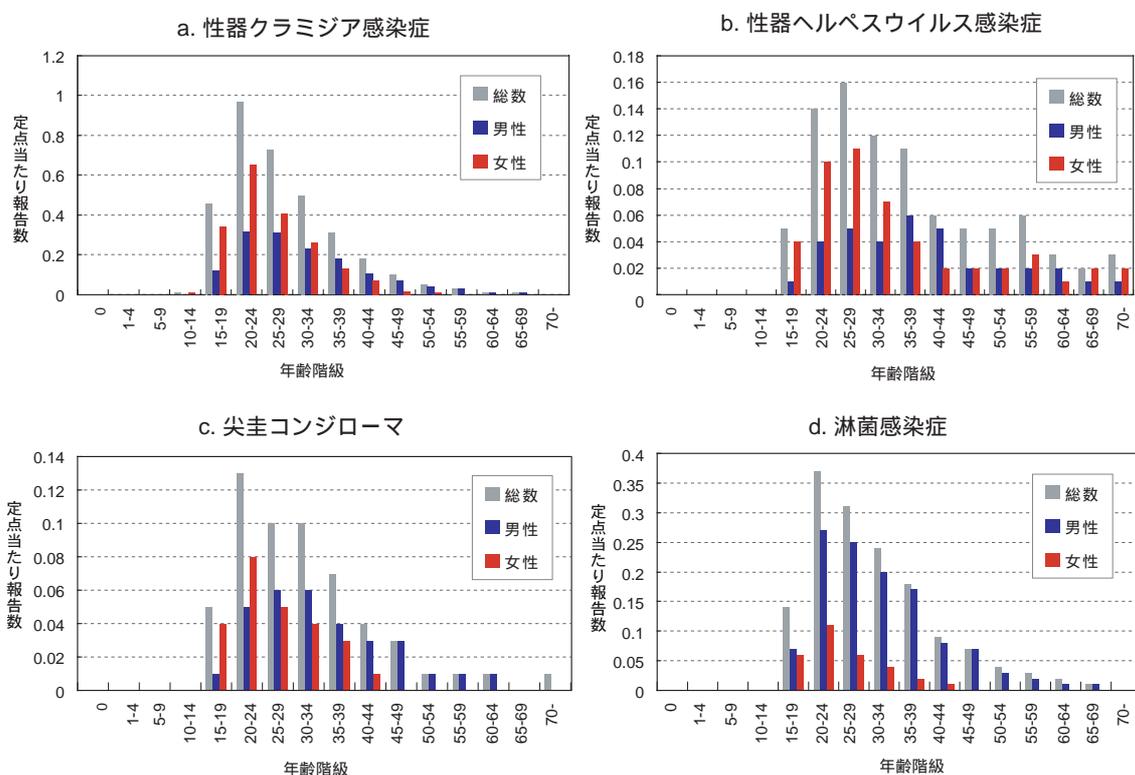
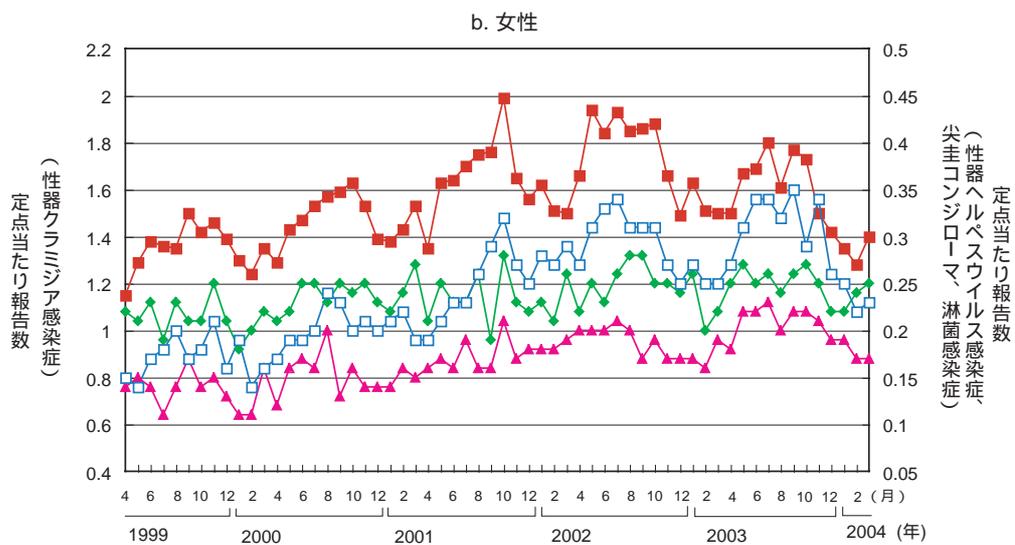
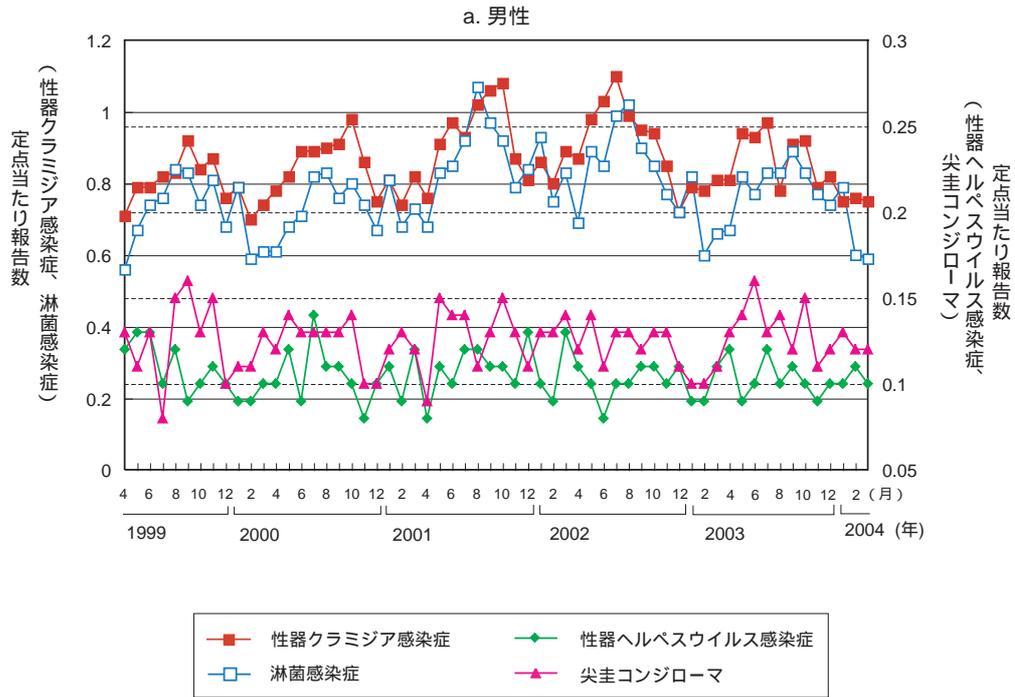


図4.1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数(15～29歳)



薬剤耐性菌感染症について(4月15日集計分)

3月の定点(基幹定点)総数: 470

[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

4.18(前月: 4.01、前年同月: 3.49)

月別には年間を通して一定の報告数であるが、年別では微増傾向が認められる。

3月の定点当たり報告数は過去4年間の同月と比較して最も多い。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

・1.33(前月: 1.39、前年同月: 0.89)

春から初夏にかけて(4～6月)と冬(11、12月)に報告数が多い。

3月の定点当たり報告数は過去4年間の同月と比較して最も多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症

・0.10(前月: 0.08、前年同月: 0.12)

月別には年間を通じてほぼ一定の報告数である。

3月の定点当たり報告数は2000、2001年の同月と比較して多いが、2002、2003年の同月と比較して少ない。

[年齢階級別]

MRSA感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の72%(70歳以上が63%)を占めている(図1)。

PRSP感染症...小児に多く、10歳未満が全体の68%(5歳未満が58%)を占めている。また高齢者にも多く、65歳以上が全体の18%(70歳以上が13%)を占めている(図2)。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の74%(70歳以上が60%)を占めている(図3)。

[性別] (女性を1として算出した男/女比)

MRSA感染症...1.8/1

PRSP感染症...1.3/1

薬剤耐性緑膿菌感染症...1.5/1

[都道府県別]

MRSA感染症...定点当たり報告数は山口県(12.3)、富山県(9.8)が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は富山県(9.8)、千葉県(9.6)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症...定点当たり報告数は岩手県(0.9)、広島県(0.4)が多い。

図1.メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

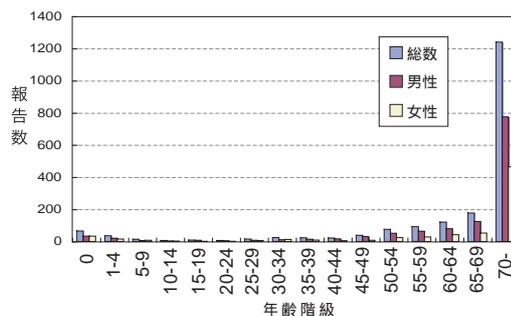


図2.ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

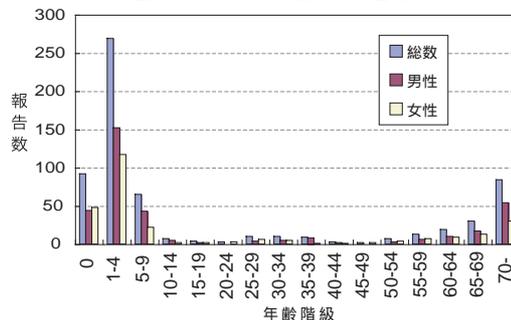
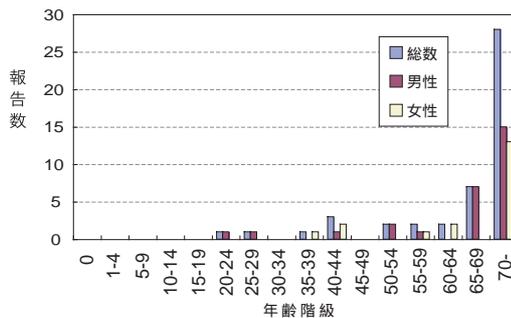


図3.薬剤耐性緑膿菌感染症



結核サーベイランス月報(4月22日集計分)

3月の新登録患者数は2,569人(男性1,673人、女性896人)で、このうち活動性肺結核患者は2,043人(うち喀痰塗抹陽性者は956人)であった。都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(292人)、大阪府(大阪市を除く)156人、大阪市(132人)、愛知県(名古屋市を除く)110人、千葉県(千葉市を除く)102人が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は475人、非定型抗酸菌陽性者数は242人であった。

*マル初者...結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

風しん

小児科定点医療機関から報告される全国の風しん患者数は、ここ数年かなり少なく推移している。しかしながら、本年の定点当たり報告数を都道府県別にみると、群馬県、大分県、鹿児島県、栃木県、埼玉県、宮城県などで報告数が増加している。

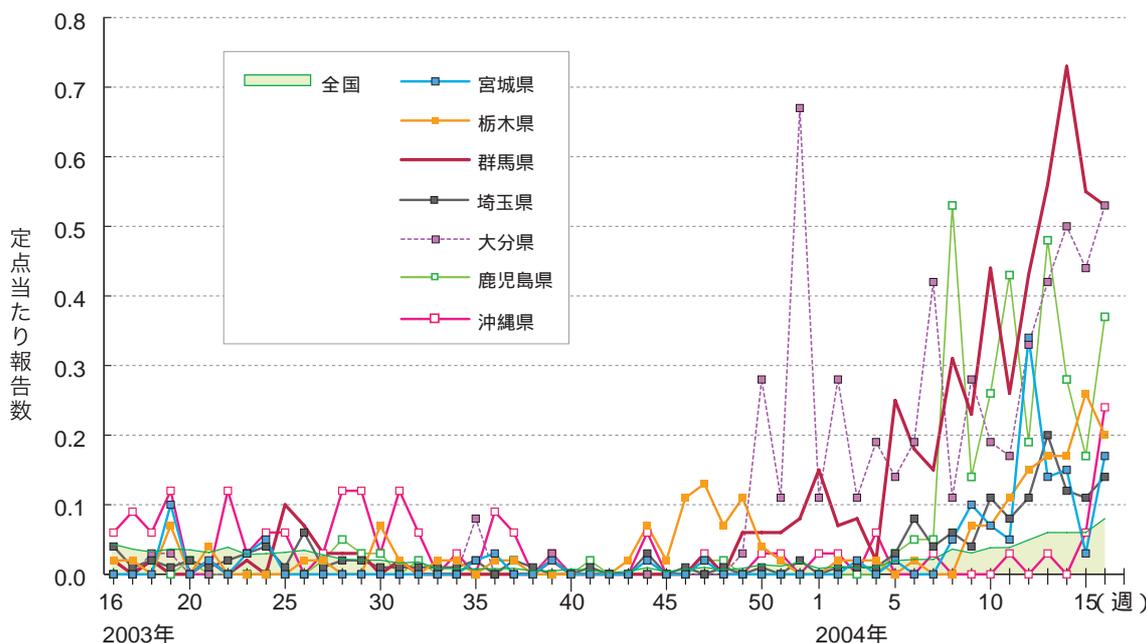
第16週の全国約3,000の小児科定点医療機関からの報告数は232人(第15週189人)、定点当たり報告数は0.08(第15週0.06)と増加した。都道府県別では、群馬県(0.5)、大分県(0.5)、鹿児島県(0.4)、宮城県(0.2)、栃木県(0.2)の他、沖縄県(0.2)でも多かった(図)。

報告されている患者の年齢群(1歳未満は6ヶ月毎、1～9歳は1歳毎、10～14歳、15～19歳、20歳以上)をみると、本年は昨年までと比較して10～14歳及び20歳以上の占める割合が増加がみられ、特に10～14歳の第16週までの累積報告数は、昨年1年間の同年齢群の累積報告数を既に上回っている。

また、ワクチン未接種で罹ったこともなく、風しんに対して免疫のない妊婦が妊娠初期に感染すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)を起こすことがある。2000～2003年は各1例の報告であったが、本年は既に2例報告されている。

風しんはワクチンで予防できる疾患であり、非流行時であっても、妊娠可能年齢の女性は、妊娠前に予防接種を受けておくことが必要である。また、罹患を防止するためには、流行を抑制することが必要であり、定期接種の対象者だけでなく、経過措置の当時の対象年齢層を中心に、男女ともに免疫のない人達は任意接種を受けることが望まれる。

図. 風しんの週別報告数(2003年第16週～2004年第16週)



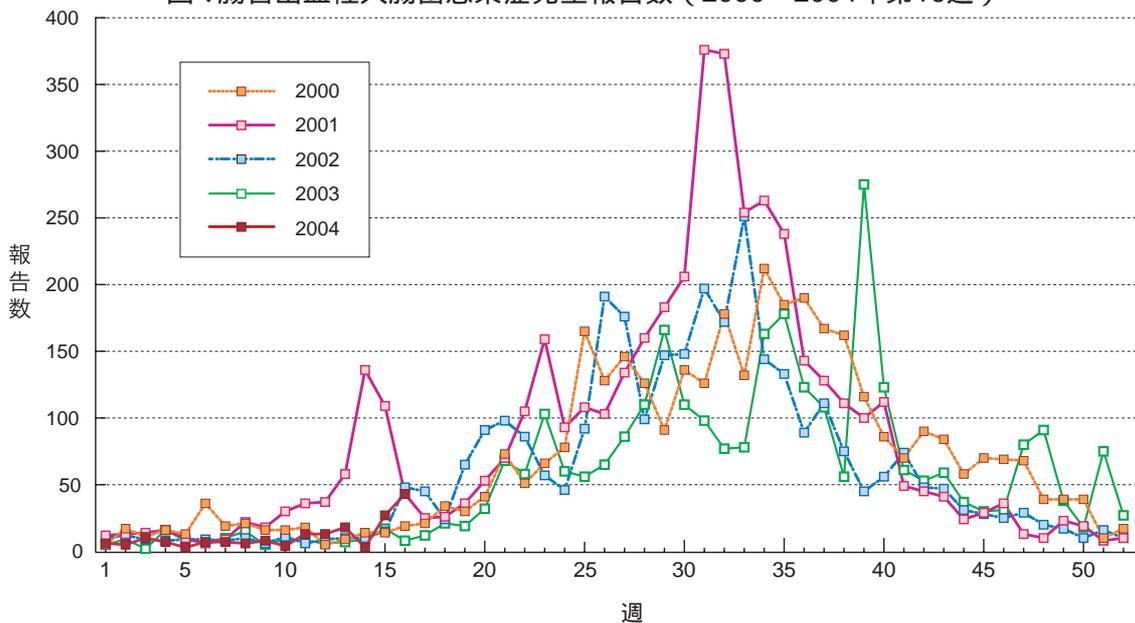
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、1996年から届出伝染病に指定され、1999年4月からは感染症法に基づく3類感染症に位置づけられた。これにより、無症状病原体保有者を含み、診断した全ての医師に報告が義務づけられている。

最近の年間報告数は、2000年3,642例、2001年4,435例、2002年3,183例、2003年2,636例(暫定)である。今年に入ってから、第15週に27例、第16週に43例と増加傾向が認められており、第16週までの累積報告数は180例(昨年同時期141例)である。例年に比べ特に多いというわけではないが、例年報告のピークは夏季にあり、今後、報告数は増加していく可能性がある(図)。

都道府県別にみると、累積報告数では東京都(20例)、大阪府(19例)、香川県(15例)が多く、第16週に限ると、香川県(10例)、岡山県(7例)、石川県(6例)、三重県(5例)が多かった。3月下旬から岡山県、石川県および福井県で散発的に発生した事例の菌の遺伝子型において、パターン的一致が認められており、少なくともこれらの地域において共通の食品・食材による感染の可能性も疑われ、現在調査が進められている。

図 . 腸管出血性大腸菌感染症発生報告数 (2000 ~ 2004年第16週)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

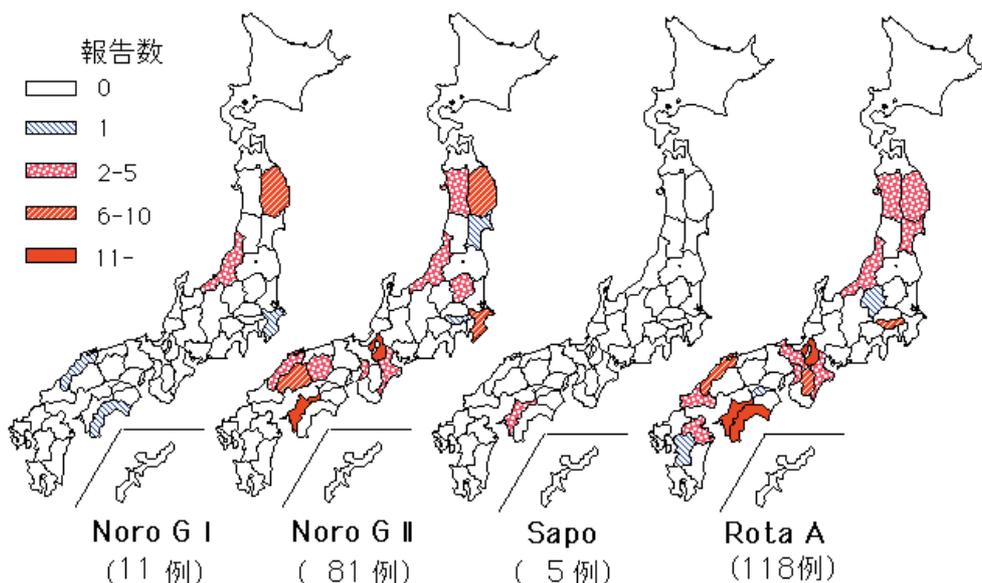
(2004年4月23日現在報告分)

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン

ロタウイルスは、第50週に小さなピーク(15件)を形成した後、2004年第4週から増加し始め、第10週(3月1日～)から第16週までの週別検出数は29、46、16、14、9、5、1である。報告のほとんどはA群で、第10週以降の検出報告数は、A群が愛媛県32、滋賀県17、高知県13、東京都10、奈良県9など四国、近畿地方を中心に18都府県から計118件報告されている。このうち滋賀県の17件は、第11週にそれぞれ地域の異なる2カ所の幼稚園と1カ所の小学校で起きた集団発生事例からの検出である。この他に群不明が2件(東京都2)報告されている。

小型球形ウイルス(SRSV)は、第50週を最大のピーク(131件)として、年明け以降はいくつかピークを示しながら減少している。第10週以降の検出報告数はロタウイルスとほぼ同じ119件で、第10週から第16週までの週別検出数は30、37、28、10、14、0、0である。ほとんどがノロウイルス genogroup(G)IIの報告で、愛媛県16、滋賀県14、広島県10など14都府県から81件、ノロウイルスGIが11件(岩手県6、新潟県2、千葉県、島根県、高知県各1)、サポウイルスが5件(愛媛県5)報告されている。この他に、ノロウイルスG不明が21件、電顕のみによる検出が1件報告されている。

都道府県別 SRSV・ロタウイルス検出報告状況、2003/04シーズン(第10週～第17週)
(病原微生物検出情報: 2004年4月23日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



インフルエンザウイルス 2003/04シーズン

AH3型ウイルスの分離・検出報告がほとんどで、全都道府県から計4,313件(PCRのみの検出46件を含む)が報告されている。このうちN型別された269件はすべてN2であった。今シーズンのピークは、昨シーズン(2002/03シーズン)と同時期の第4週(840件)で、第5週以降は減少し、第11週から第16週までの週別分離・検出数は52、17、7、6、0、2である。第13週(3月22日～)以降、北海道4、兵庫県、島根県、高知県各2、岩手県、東京都、大阪府、奈良県、福岡県各1の分離・検出が報告されている。

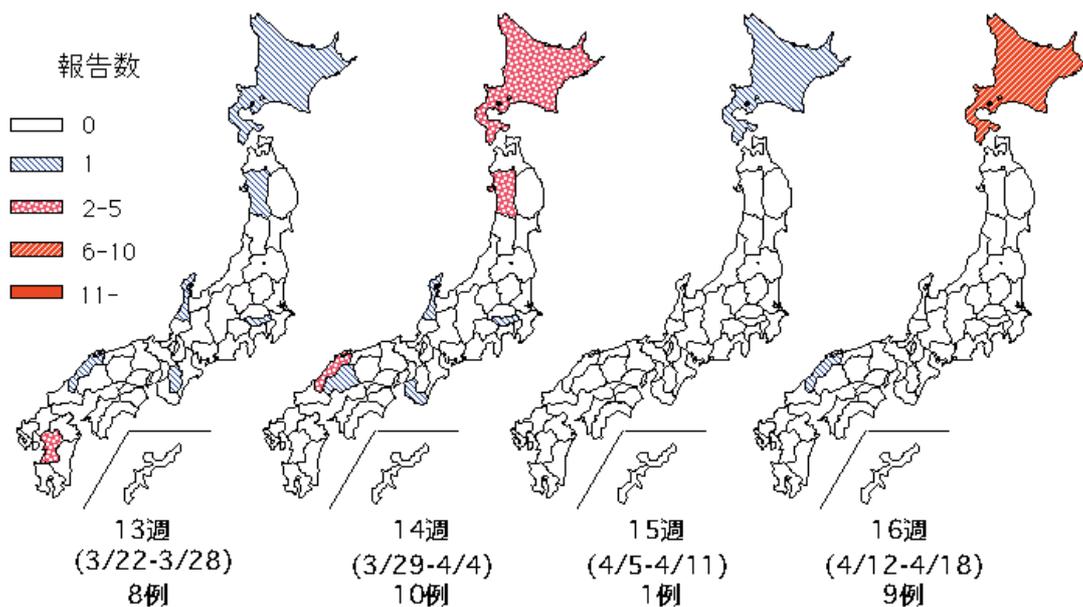
B型ウイルスの分離・検出報告は計152件(PCRのみの検出1件を含む)で、新たに和歌山県から1件の分離報告があり、これまでに全国35都道府県から報告されている。

第11週から第16週までの週別分離・検出数は14、10、8、10、1、9で、第13週以降はAH3型の分離・検出報告数を上回っている。第13週以降、北海道12、島根県4、秋田県3、東京都、石川県、熊本県各2、奈良県、和歌山県、広島県各1の分離・検出が報告されている。

AH1型ウイルスの分離報告は計3件で、第49週に分離された長野県の1件(IDWR2003年第51号速報記事参照)と、埼玉県で分離された2件(第49週、第50週各1)の報告である。長野県の1件と埼玉県の2件中1件はN型別され、ともにN1であった。

都道府県別インフルエンザウイルスB型分離・検出報告状況、2003/04シーズン(第13週～第16週)

(病原微生物検出情報: 2004年4月23日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



冬季におけるA群コクサッキーウイルス16型の局地的流行 - 秋田県

2004年第8週に、秋田県由利地方の患者定点に指定されている医療機関から、手足口病の流行が見られるとの報告を受けた。定点医療機関からの手足口病の報告数は、第8週19人、第9週10人、第10週14人、第11週9人、第12週4人で、その後は終息したものの、1カ月間で56人を数えた。同時期に由利地方の他の医療機関でも5人の報告があったが、由利地方以外では特筆すべき流行は認められなかった。年齢別では1～19歳まで開きがあったが、70%以上が1～3歳に集中しており、保育園等での流行も認められた。

病原体を特定するために、定点医療機関で患者咽頭ぬぐい液7検体を採取し、HEA1細胞でウイルス分離を試みたところ、5検体においてエンテロウイルス様のCPEが認められた。これらを中和試験により同定したところ、A群コクサッキーウイルス16型(CA16)と判明した。

この際、同定作業を簡便化する試みとして、CA16とエンテロウイルス71型(EV71)にそれぞれ特異的なプライマーによるRT-PCR(山崎謙治、奥野良信、感染症学雑誌75:909-915、2001)を用いたところ、5株ともCA16特異的プライマーにのみ反応した。また、当該プライマーは原著では通常のRT-PCRに用いているが、リアルタイムPCR(ロシュ、ライトサイクラー)のSYBR Green I検出系に用いたところ、メルティングカーブ分析で明瞭な単一ピークを形成した。これによって、手足口病と臨床診断された検体からエンテロウイルスを分離した場合には、中和試験の結果を待たなくても、CA16とEV71の鑑別が簡便に行えるものと考えられた。

さらに、5株の5'ノンコーディング領域を増幅した155bpのPCR産物を、一本鎖高次構造多型解析(SSCP解析)によって比較したところ、同一のパターンであり、同じ塩基配列のウイルスが流行していたことが示された。

今回の流行は季節的には通常の流行期からは外れており、地域的にも限定されたものであったが、今シーズンの手足口病の流行を予測する上で興味深いものと考えられた。

秋田県衛生科学研究所

斎藤博之 安部真理子 原田誠三郎 八幡裕一郎 笹嶋 肇 鈴木紀行

神坂医院

神坂 陽

埼玉県における風しんの流行状況とその対策

埼玉県における風しんの流行については、感染症発生動向調査上、平成15年は、報告患者の年齢分布において10歳以上の占める割合が大きくなっていったが、報告患者数自体には特に大きな変化は認められなかった。

しかし、平成16年は、第6週(2月2日～2月8日)に県南部の保健所管内で局地的な流行(定点当たり報告患者数2.60人)が認められ、管轄する保健所からは中学校での学級閉鎖等の情報も寄せられた。そのため、県では定期的に出している感染症情報によって医療機関等に情報提供し、また、管轄保健所は学校等への情報提供を行った。

その後、同保健所管内の患者報告は定点当たり報告患者数0.80～1.80人で推移していた。それ以外の地域での発生状況をみると、県北部の複数保健所で、定点当たり報告患者数0.50～1.80人と断続的に上がる週があり、地域的に散在していた。

その後、4月9日に厚生労働省から風しん流行に関する注意喚起の発表があったことから、県として以下のような対応を迅速に行った。

1 緊急相談窓口の設置

報道を聞いた県民の不安解消を目的として、報道直後の土日(4月10、11日)については、感染症対策室に専門職員を配置し、県民からの電話相談に応じた。

2 乳幼児期のワクチン接種の徹底対策

各個人の風しん罹患防止と、地域での風しん蔓延防止を目的として、厚生労働省の発した「先天性風しん症候群の発生防止について」の通知を市町村・保健所・教育局・学事課(幼稚園関連)、こども家庭課(保育所及び母子保健関連)に送付するとともに、教育の場での活用を目的に相談対応のQ&Aを作成し、学校に配布した。

3 妊娠する可能性の高い女性への抗体測定とワクチン接種勧奨

「先天性風しん症候群」の予防を目的として、リーフレット「先天性風しん症候群を知っていますか?」を作成し、市町村において婚姻届を出した人に配布し、これから妊娠する可能性の高い女性に、風しんについての必要な知識の周知を図った。

今後、埼玉県としては上記のような対策を進めながら、感染症発生動向調査を通じて迅速かつ的確に流行状況を把握するとともに、衛生研究所の感染症情報センターにおいては、県下の風しんの流行状況を早期に感度よく探知し、県民にわかりやすく情報を還元する。また、適切なタイミングで、なるべく多くの県民が風しんワクチン接種を早期に受けやすい環境の確保に努める。さらに、継続的に行っている「埼玉県予防接種率調査」等を活用し、市町村において予防接種の重要性を啓発する広報を積極的に行い、風しんの定期予防接種の向上を図っていく。

埼玉県健康福祉部感染症対策室
埼玉県衛生研究所



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

シエラレオネのKenema地区でラッサ熱発生

WHO/CSR 2004年4月20日

WHOはKenema地区でのラッサ熱流行の報告を受けた。正確な患者数と死亡者数は現時点では不明である。WHO協力センターである南アフリカ国立感染症研究所で実施された予備的診断検査で、ラッサ熱感染が確認された。WHO本部とWHOシエラレオネ事務所のチームが、現状と今後の調査実施の必要性を評価し、Kenema病院の隔離病棟の患者管理を支援するとともに、流行制圧対策の内容を確認している。

バングラデシュ(Faridpur)でのニパウイルス感染、診断確定

WHO/CSR 2004年4月20日

2004年4月20日現在、WHOは、Faridpur地域でのニパウイルス感染による、死亡者18名を含む患者30名の集団発生に関する予備報告を受けた。米国のCDCが行った診断検査により、患者16名でのニパウイルス感染が確認された。

バングラデシュ感染症対策研究所、バングラデシュ保健人口研究国際センター(ICDDR)およびWHO事務所からの専門家によるチームが疫学調査を行っている。

同チームは患者管理のガイドラインを設定した。それらのガイドラインは、今週予定されている、流行制圧およびFaridpur地域の様々な医療機関での現地医療関係者による安全な診療に関するワークショップで使用される。

中国でのSARS患者発生

WHO/CSR 2004年4月22日

中国衛生省は4月22日WHOに、1名のSARS疑い患者発生を報告した。

患者は20歳の看護師〔A〕で、4月5日に北京でSARS様症状を発症し、4月7日に病院に入院した。病状が改善しないため、4月14日北京の二次医療病院に移送され、集中治療室に収容された。

WHO/CSR 2004年4月23日

中国衛生省は本日4月23日、死亡者1名を含むさらに3名のSARS患者を報告した。これにより、現在中国でSARSと合致した臨床症状を呈している患者数は4名となった。

安徽省出身の26歳女性の大学院生〔B〕は、2004年3月中の2週間、中国CDCの一部である北京の中国国立ウイルス学研究所で研究に従事した。この研究所は、SARSコロナウイルスに関する研究機関として知られている。〔B〕は3月25日に発病し、北京の病院に入院中に看護師〔A〕の看護を受け、また、〔B〕の母親〔C〕の介護を受けた。

母親〔C〕は4月8日に安徽省で発病し、4月19日に死亡した。臨床症状はSARSに一致しており、保健当局はさかのぼってこの母親をSARS「疑い例」と診断した。

4例目の患者は、同様に北京のウイルス学研究所で勤務していた31歳の男性研究者〔D〕である。彼は4月17日に発症し、4月22日に入院隔離された。保健当局は彼をSARS疑い患者と診断した。WHOは、20歳看護師〔A〕と26歳大学院生〔B〕をSARS「可能性例」と分類した。

WHO/CSR 2004年4月26日

中国保健省の要請を受け、WHOは4月26日に、最近北京および東部の安徽省で報告されたSARS患者の感染源調査支援のため、国際チームの第1陣を派遣した。

現在までの調査結果では、今回の患者発生の感染源として、北京にある国立ウイルス学研究所内の実験室が指摘されている。同研究所は、ワクチン開発を含む、SARSコロナウイルスを用いた研究に携わっている。

今回報告された患者のうち、26歳の大学院生〔B〕、および31歳男性研究員〔D〕は同研究所で研究活動を行っていた。2名の発病日は23日も離れていることから、2004年3月中旬から4月上旬の間に、2回以上の感染曝露が実験室内で発生したことが示唆される。当局は同研究所を閉鎖し、スタッフ200名以上を医療観察下に置いている。SARSウイルス感染源評価のため、実験室から多数の環境検体が採取された。

適切な感染防止策が取られる前に、一部の患者は複数の病院で治療や診察を受け、また、患者の1人は発病後に列車で2度にわたり、中国国内を長距離旅行した。

2004年4月22日以来、中国当局は8名(北京で6名、および安徽省で死亡者1名を含む2名)が臨床的にSARS患者と診断されるか、SARS感染の可能性があると調査されていると報告している。4月26日時点で、これらの患者との接触者1,000人近くが医療観察下にある。内訳は北京で640名、および安徽省で353名である。

4月25日に発表された新たな患者は、20歳看護師〔A〕との濃厚接触者4名で、看護師〔A〕の父親〔E〕、母親〔F〕、叔母〔G〕、および看護師〔A〕が入院中に同室であった女性患者〔H〕である。全員〔E～H〕が北京市在住で、発病日は2004年4月16～19日であった。母親〔F〕は肺炎を合併し、重症である。他の3名は安定している。

さらに保健当局は、安徽省で大学院生〔B〕の入院中に治療に当たった医師2名が発熱したと報告した。これら医師のうちの1人との濃厚接触者1名も発熱している。

4月26日までに、診断された患者および調査中の患者全員が、初発例との密接な接触を含めた感染伝播の連鎖に関連づけられている。市中でより広範囲な感染伝播が発生しているという証拠はない。

(訳注: 可読性を高めるため疑い患者に〔A〕～〔H〕の番号を加筆した)

(疑い患者一覧は、<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1o3.html>参照)

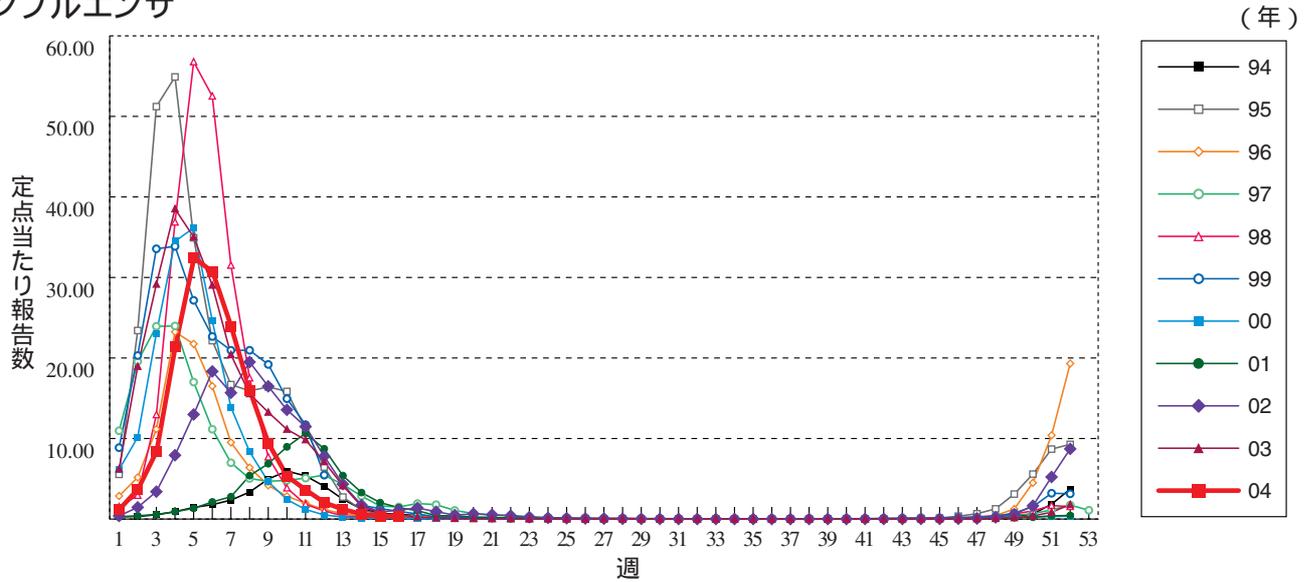


感染症の話

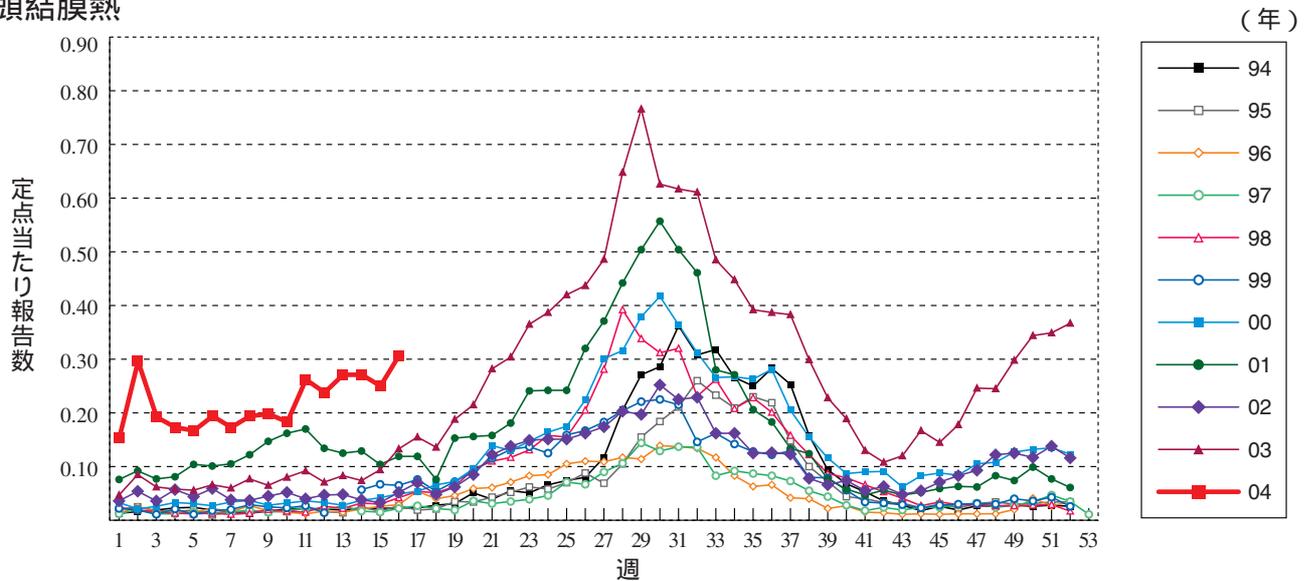
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(16週)

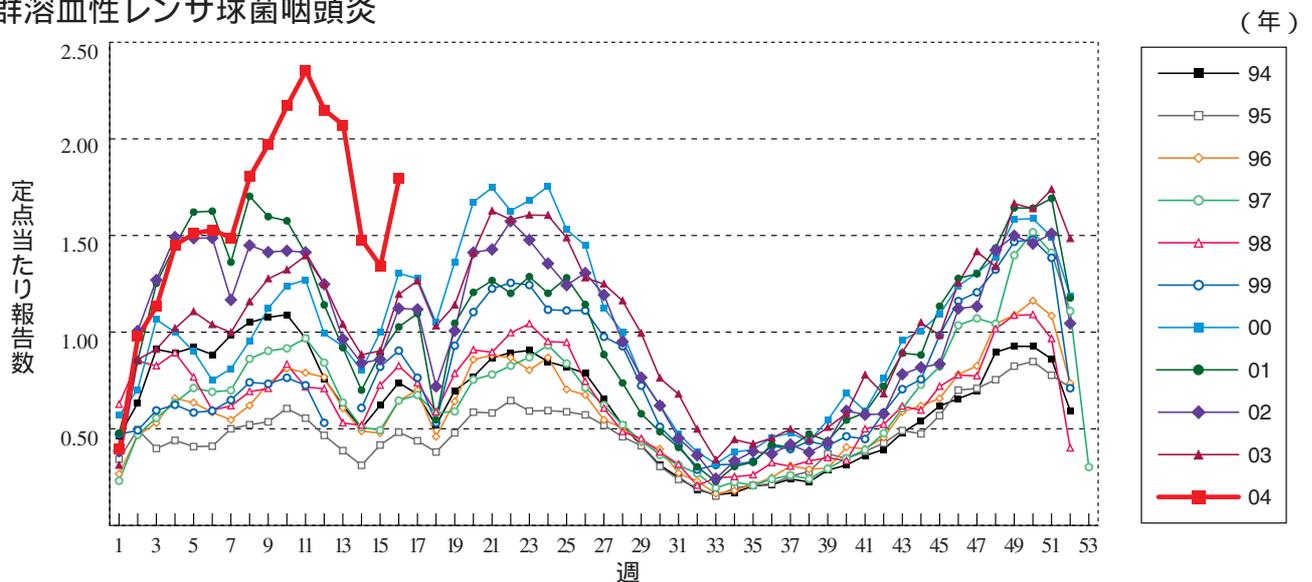
インフルエンザ



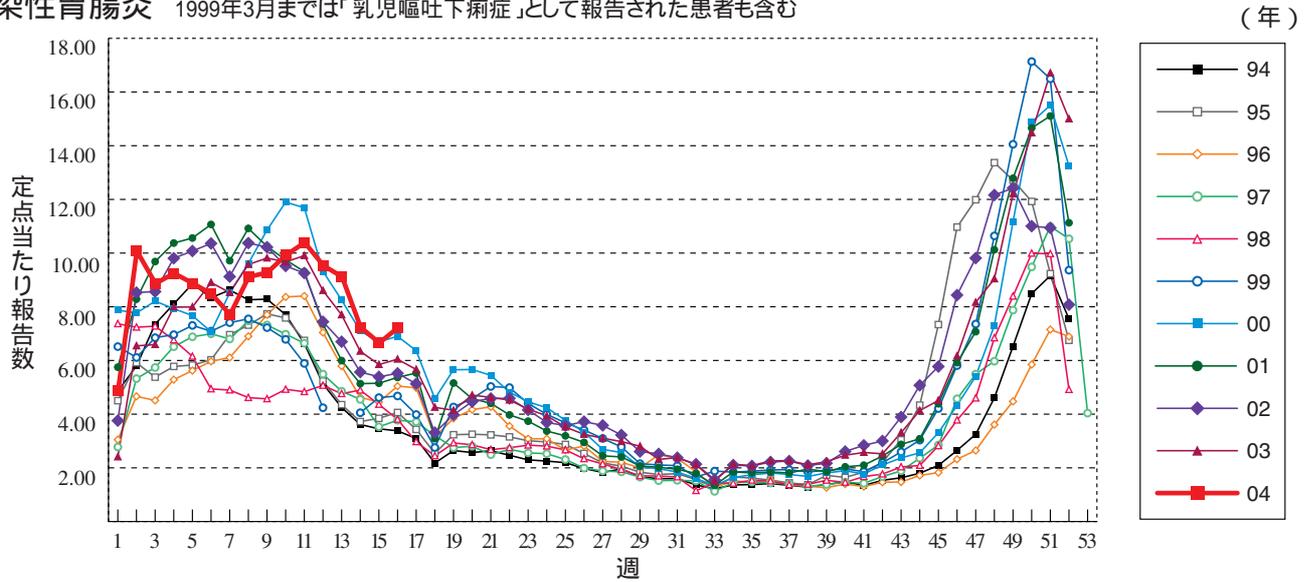
咽頭結膜熱



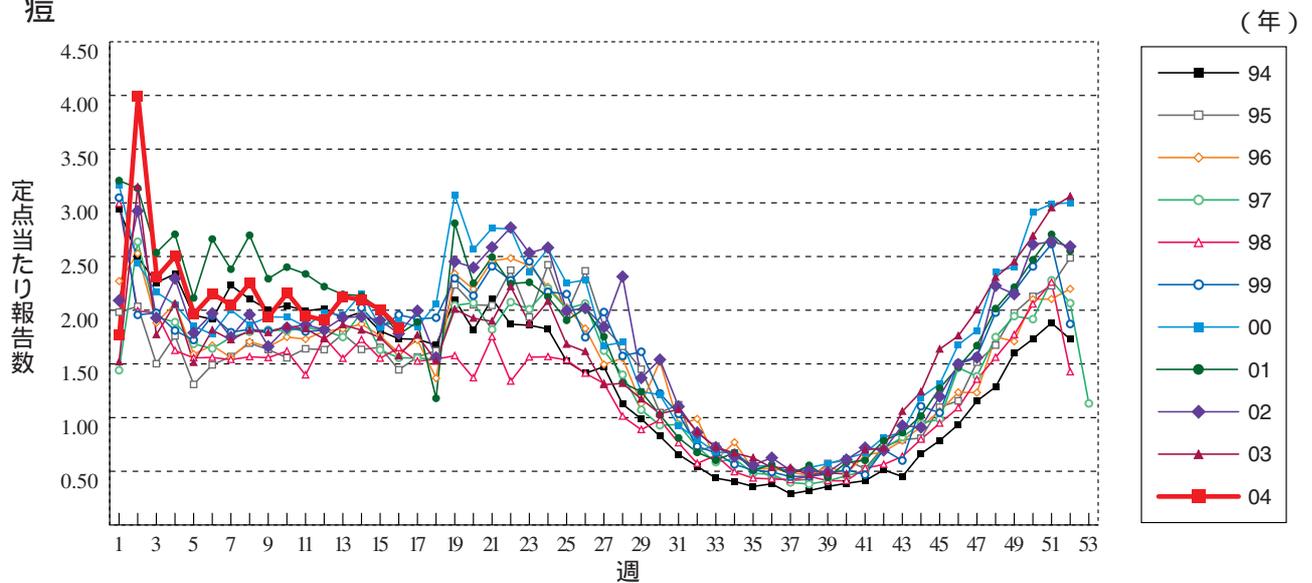
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



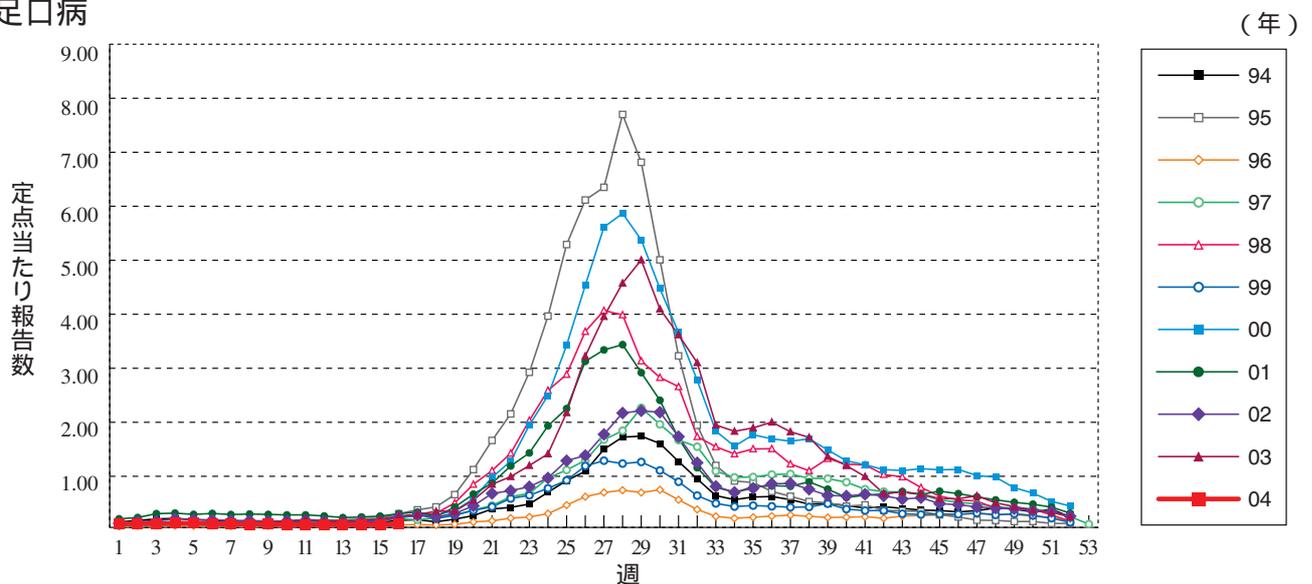
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



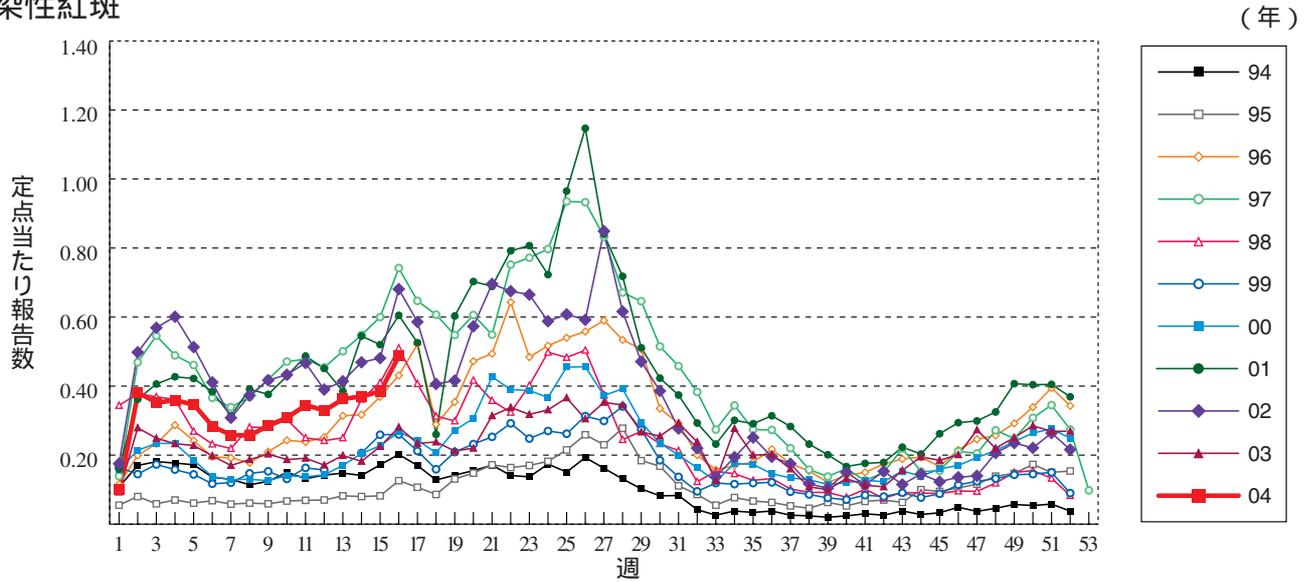
水痘



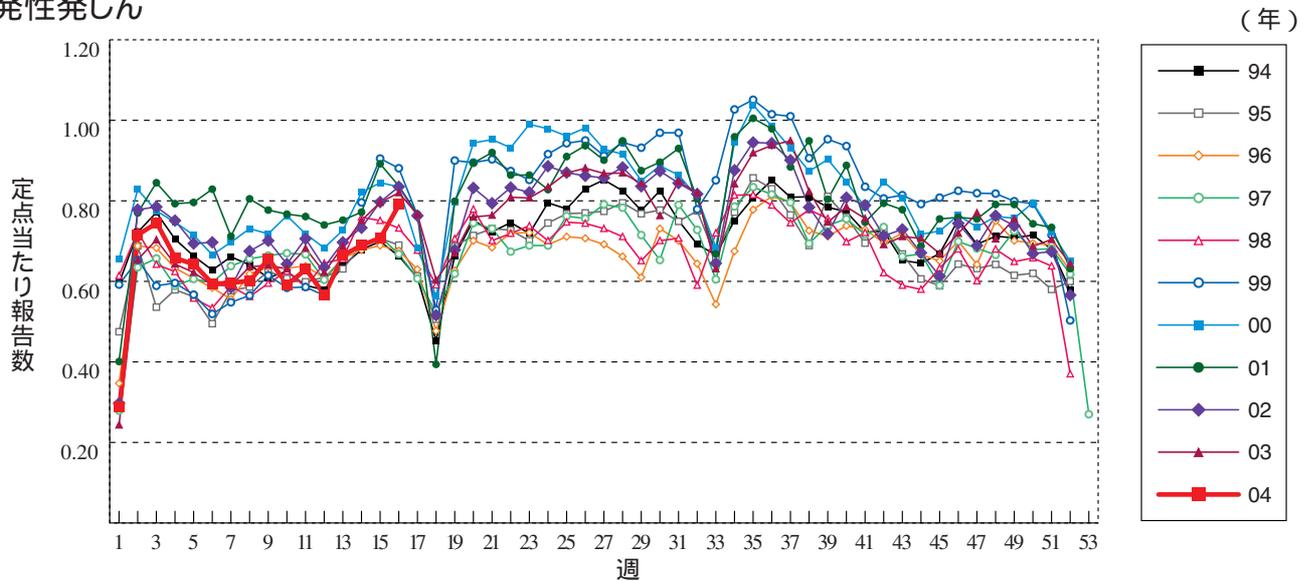
手足口病



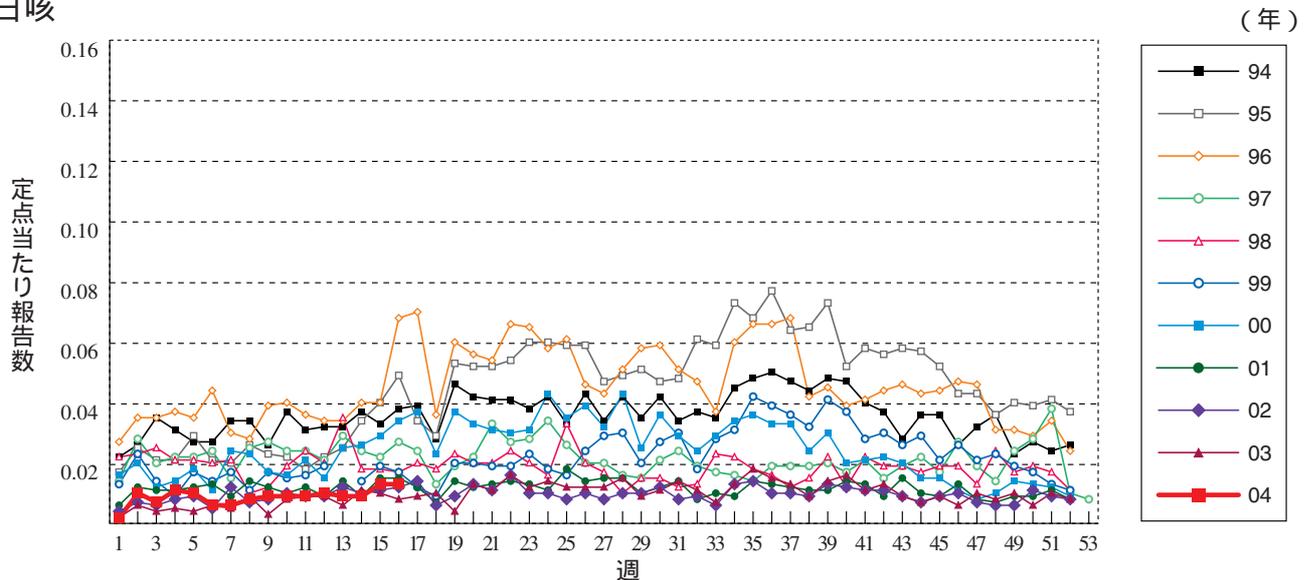
伝染性紅斑



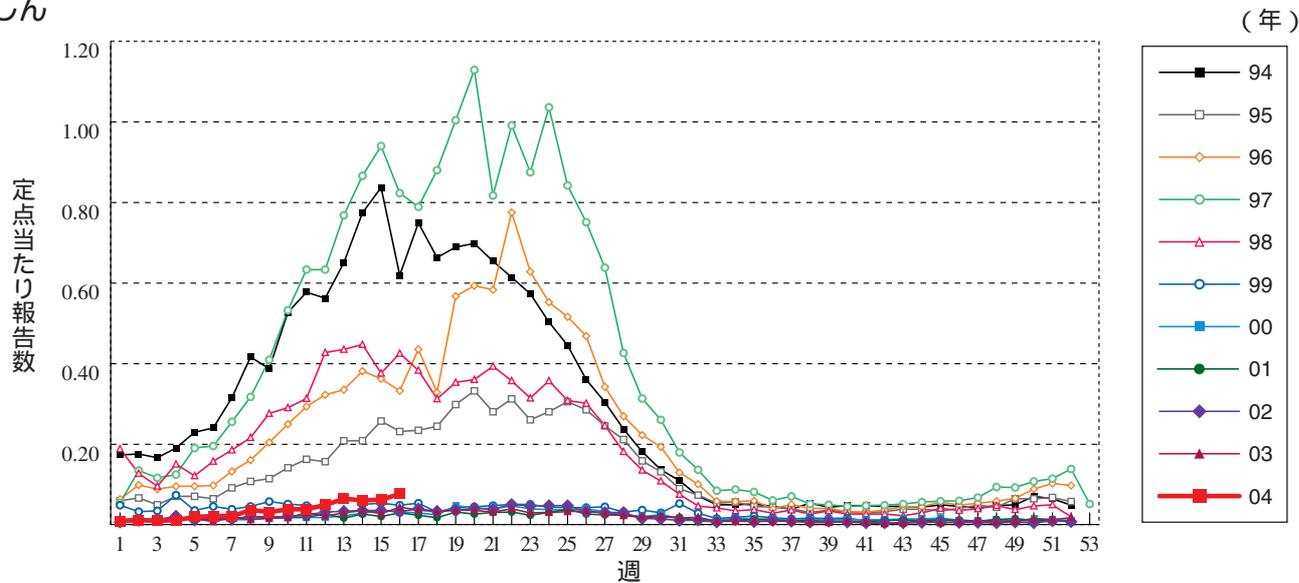
突発性発しん



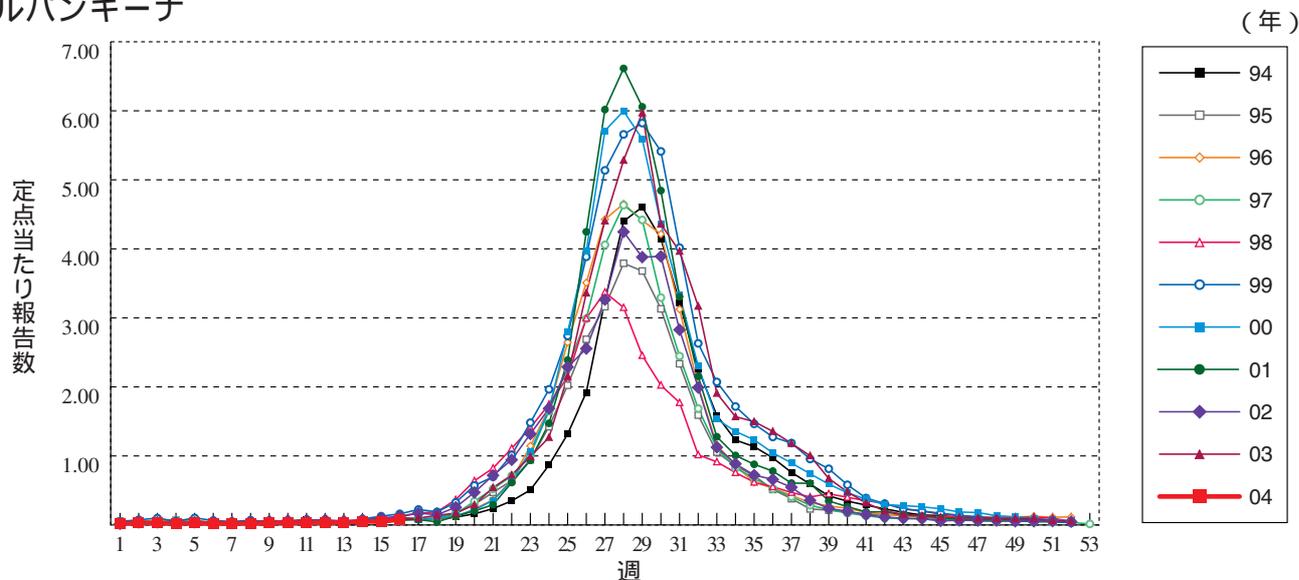
百日咳



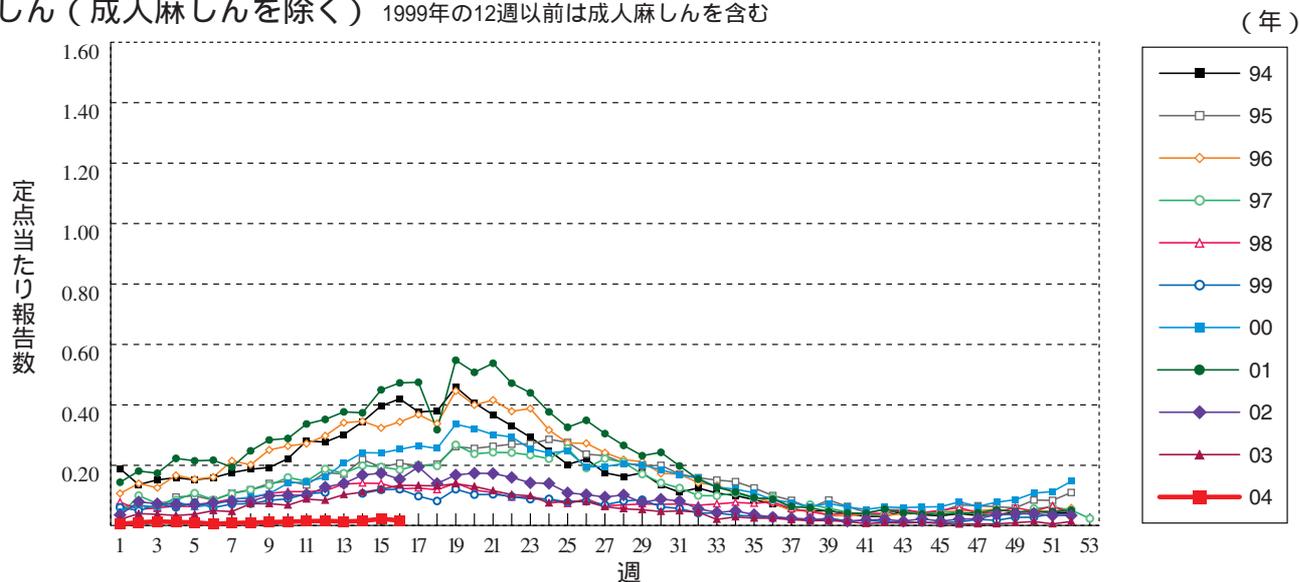
風しん



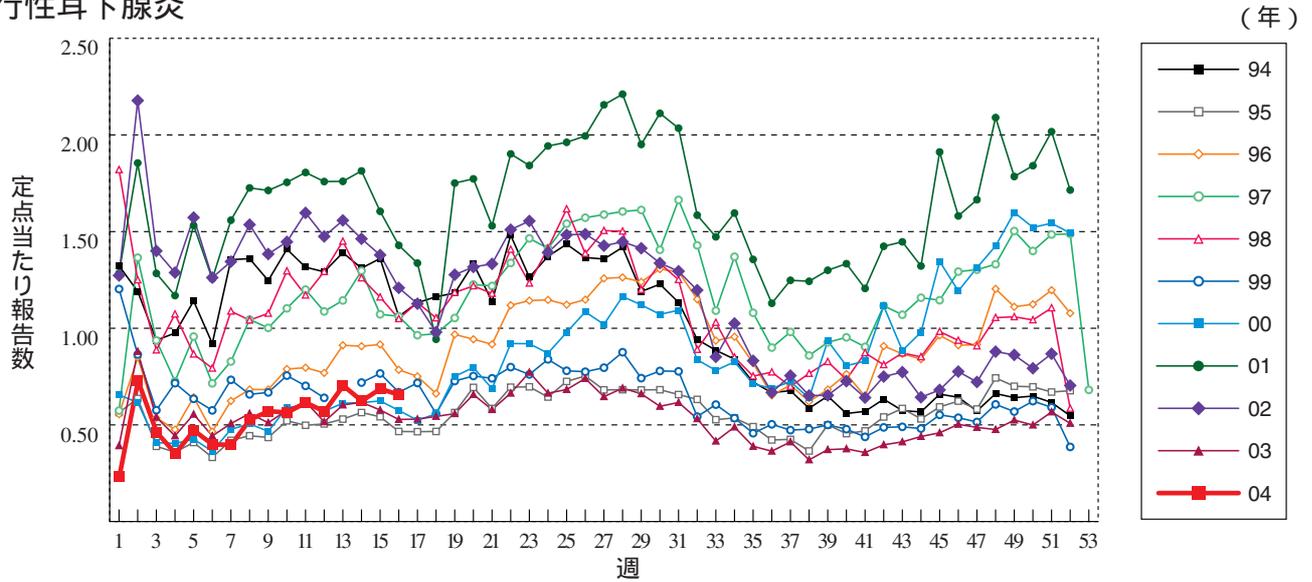
ヘルパンギーナ



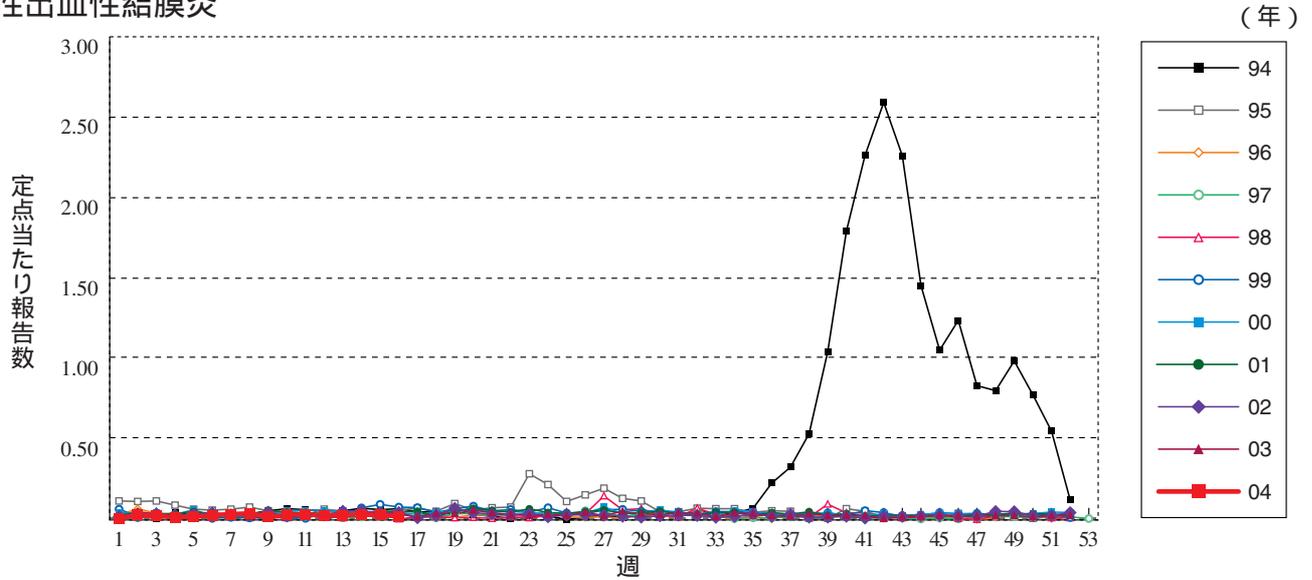
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



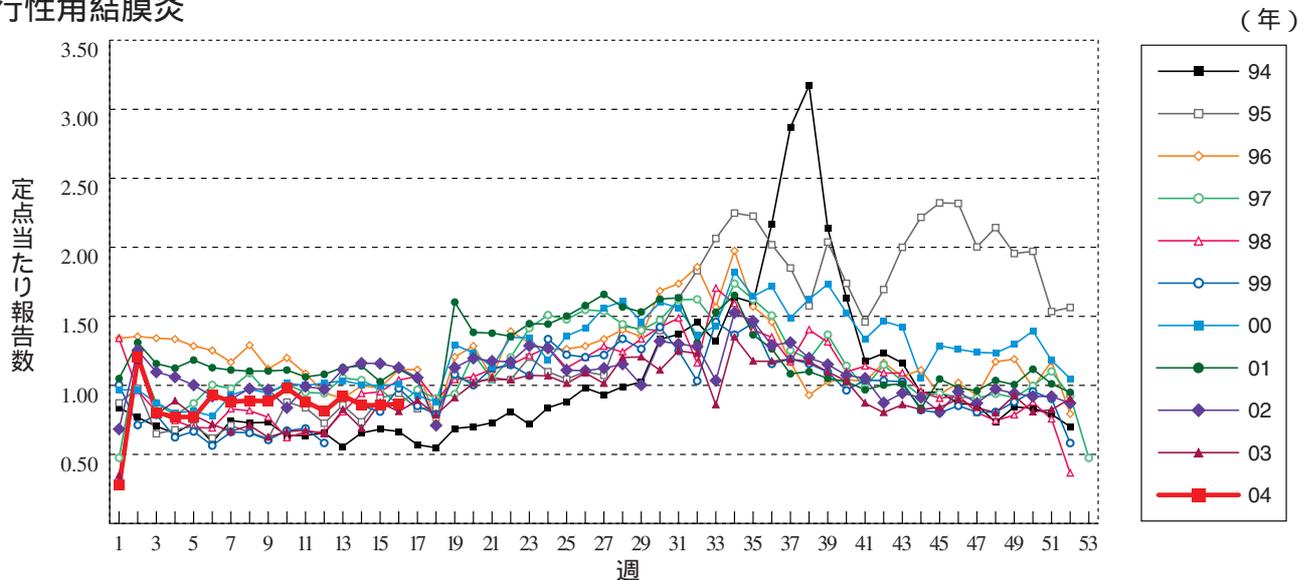
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

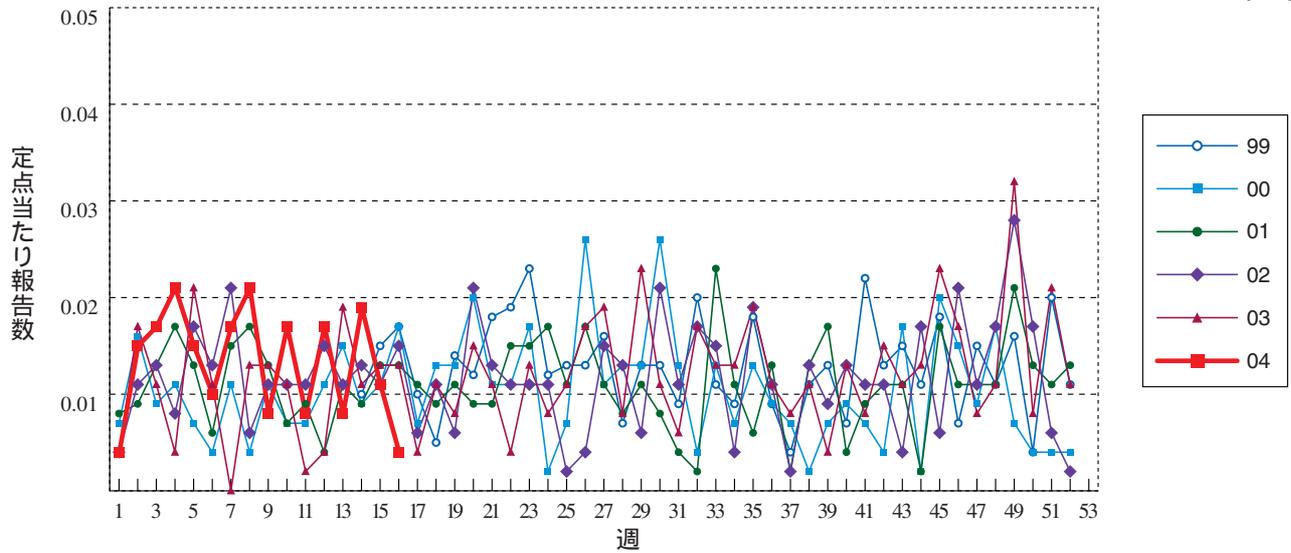


流行性角結膜炎



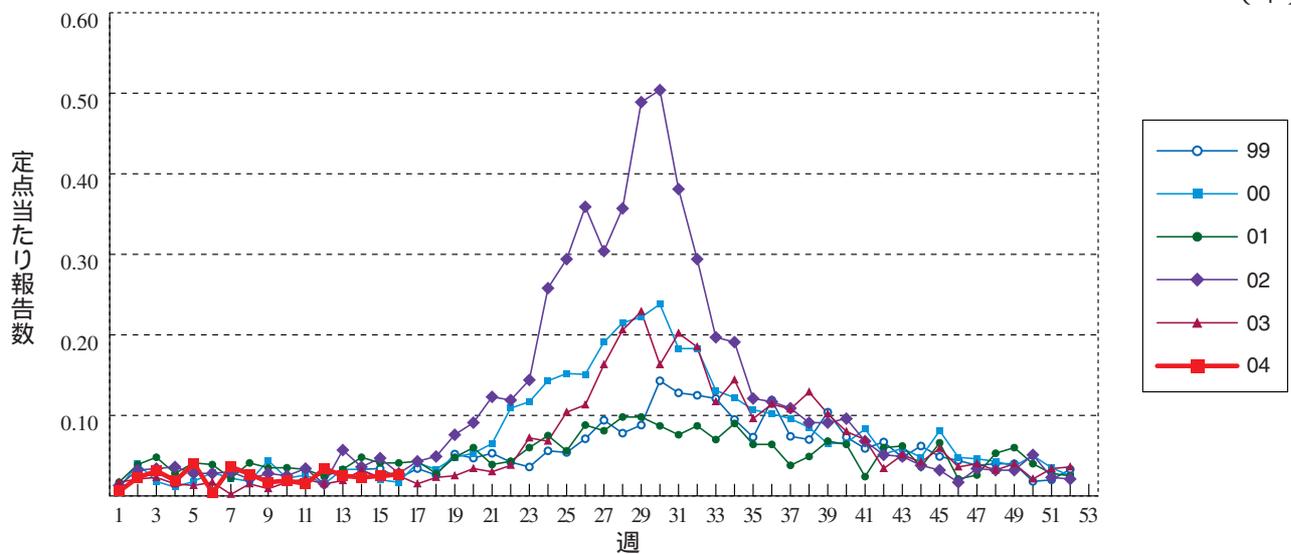
細菌性髄膜炎

(年)



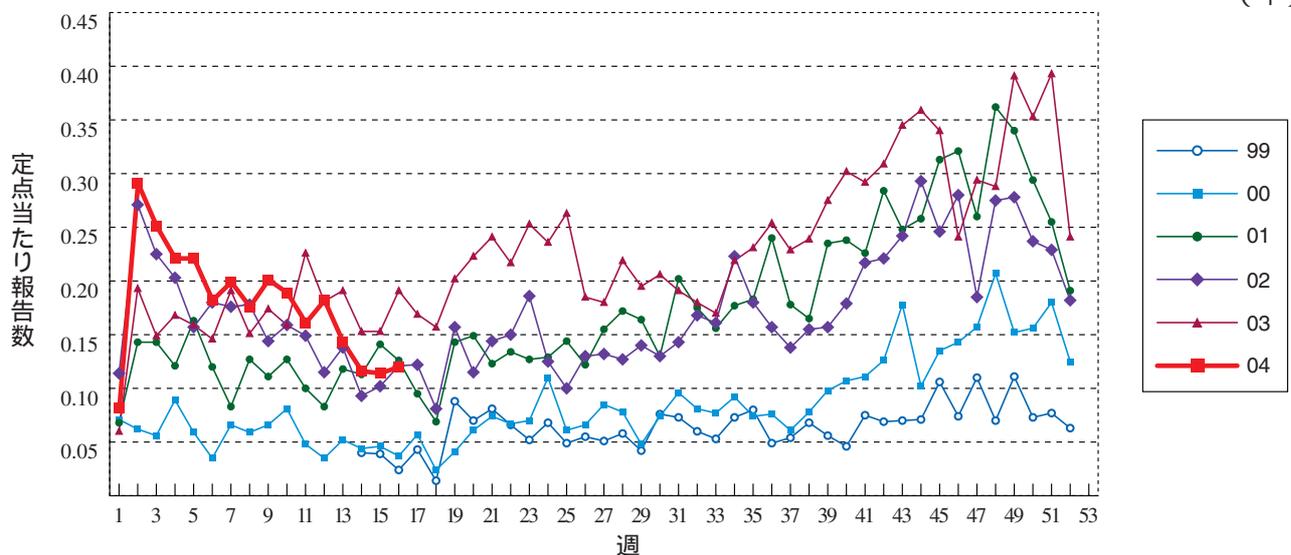
無菌性髄膜炎

(年)



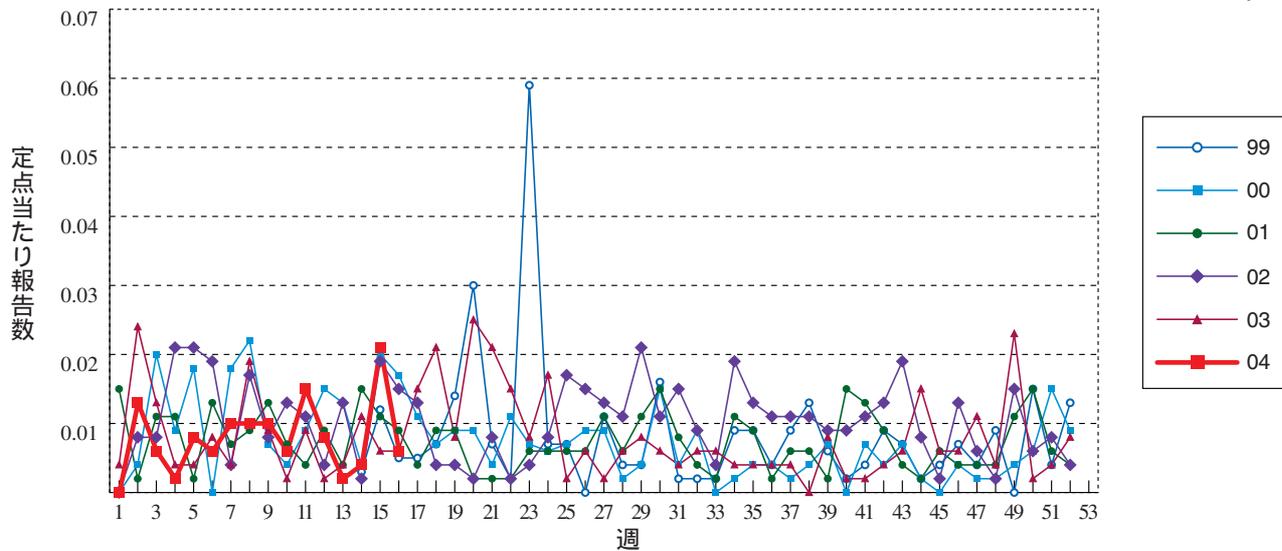
マイコプラズマ肺炎

(年)



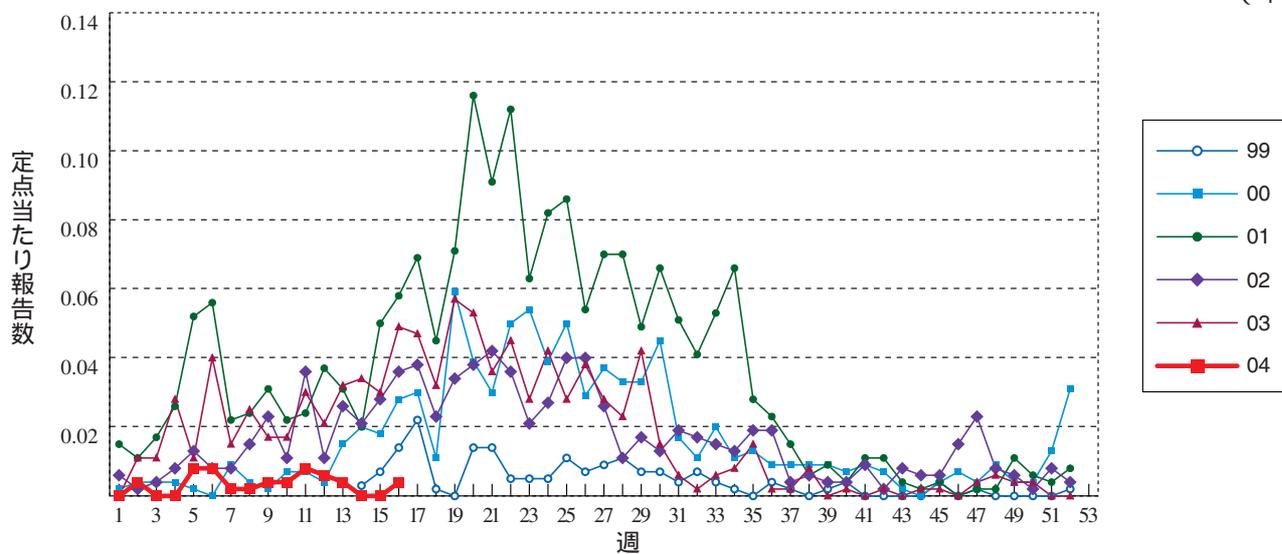
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

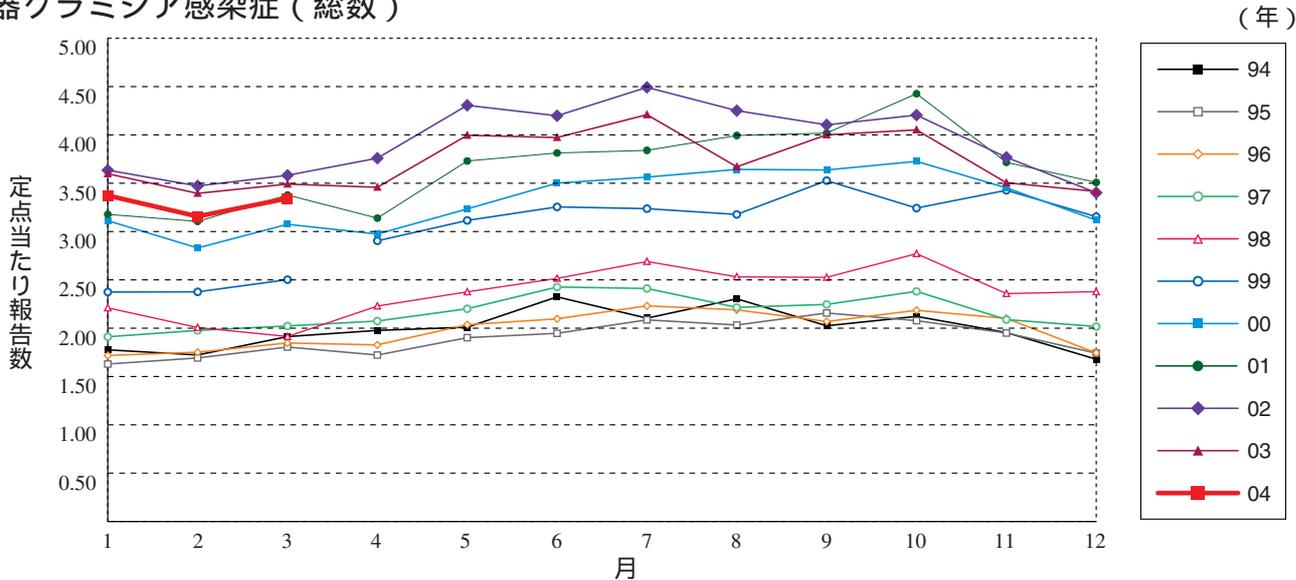




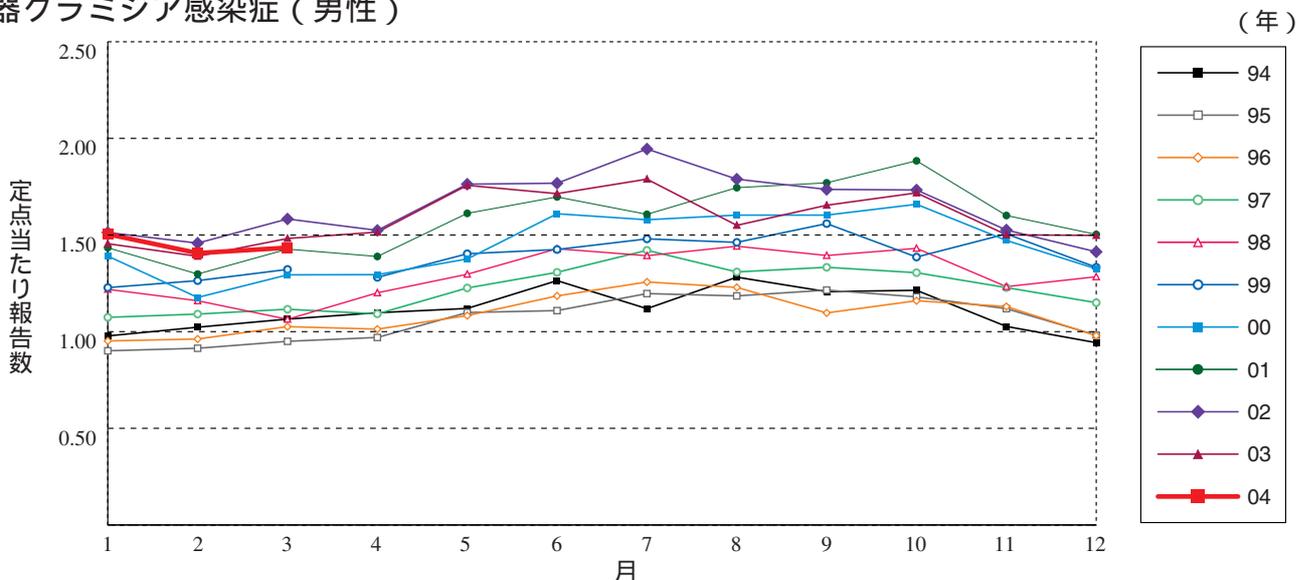
グラフ総覧(3月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

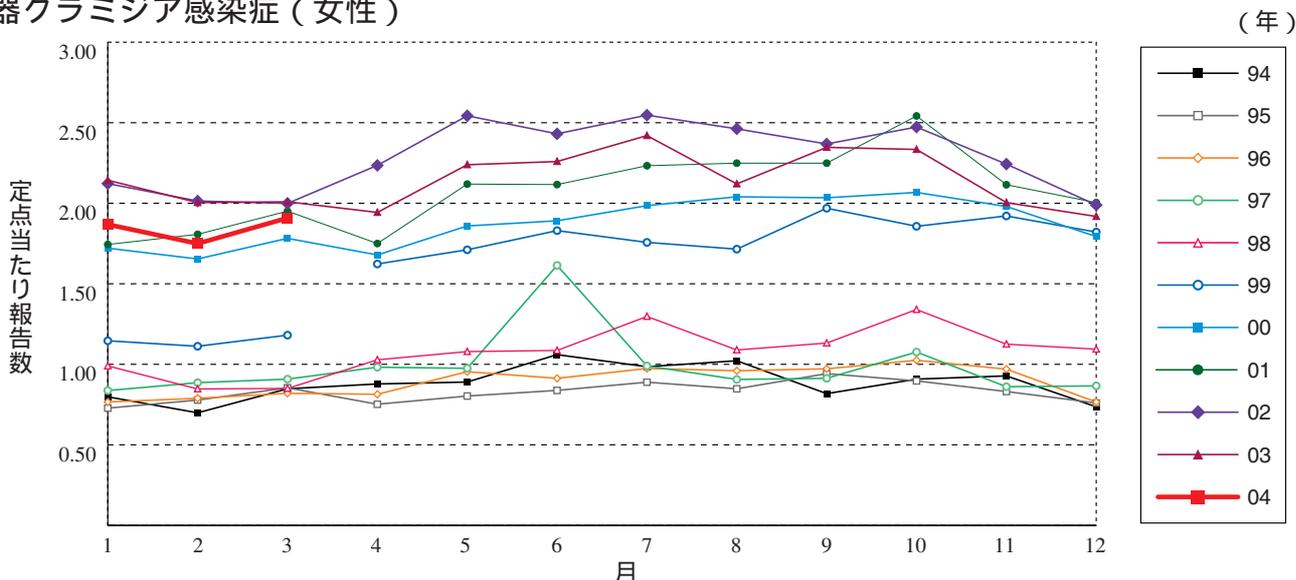
性器クラミジア感染症(総数)



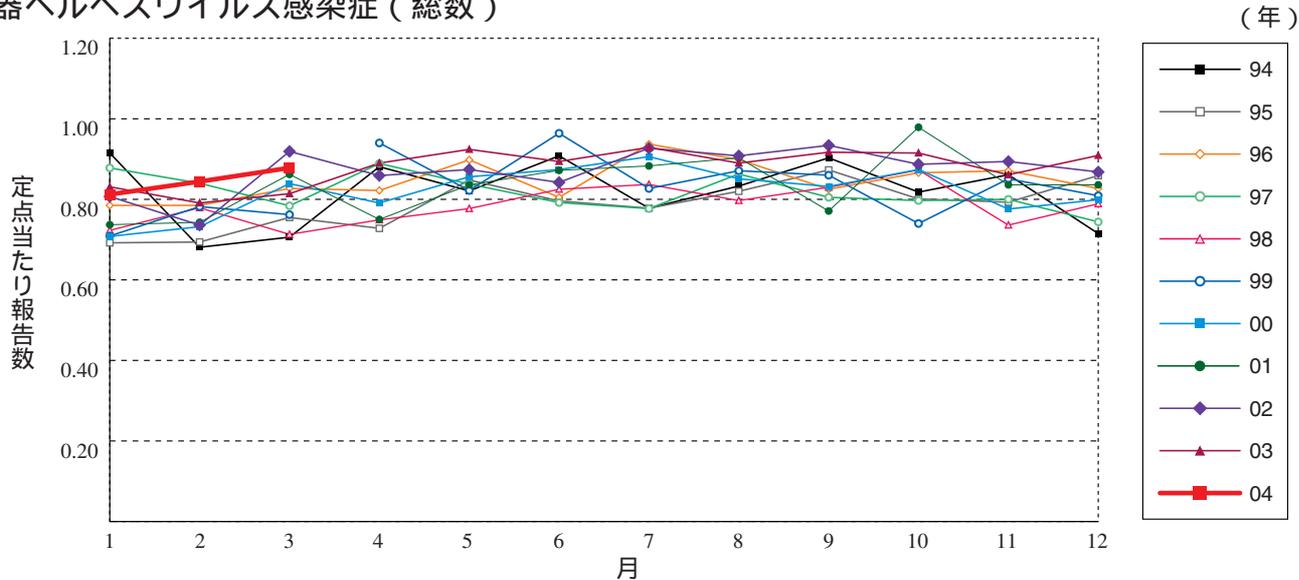
性器クラミジア感染症(男性)



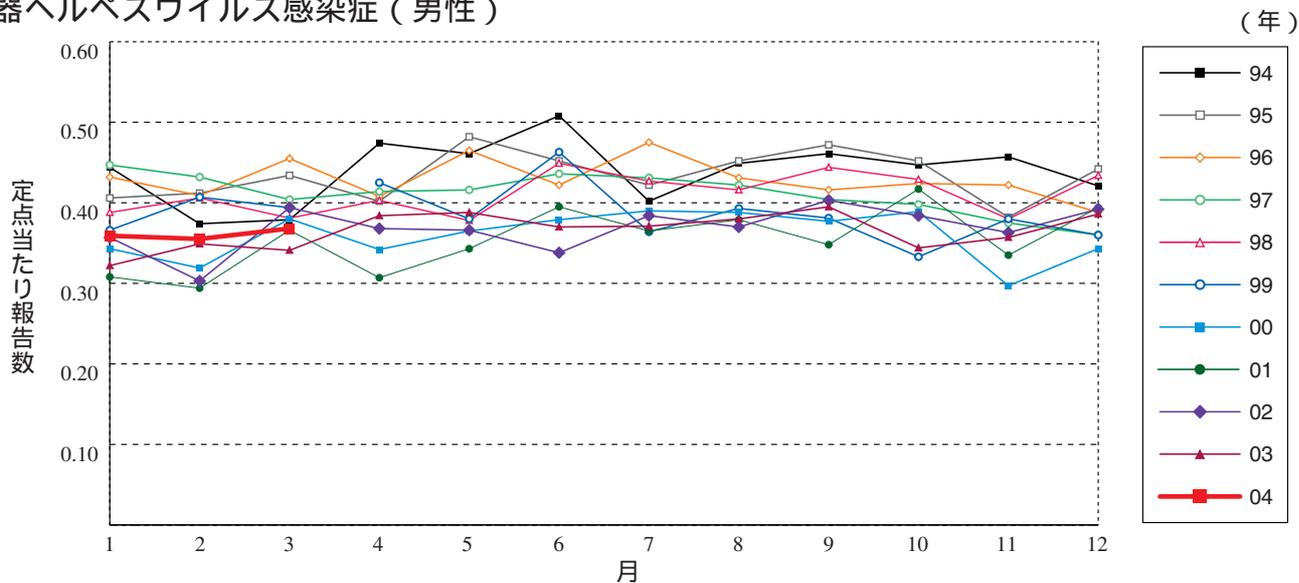
性器クラミジア感染症(女性)



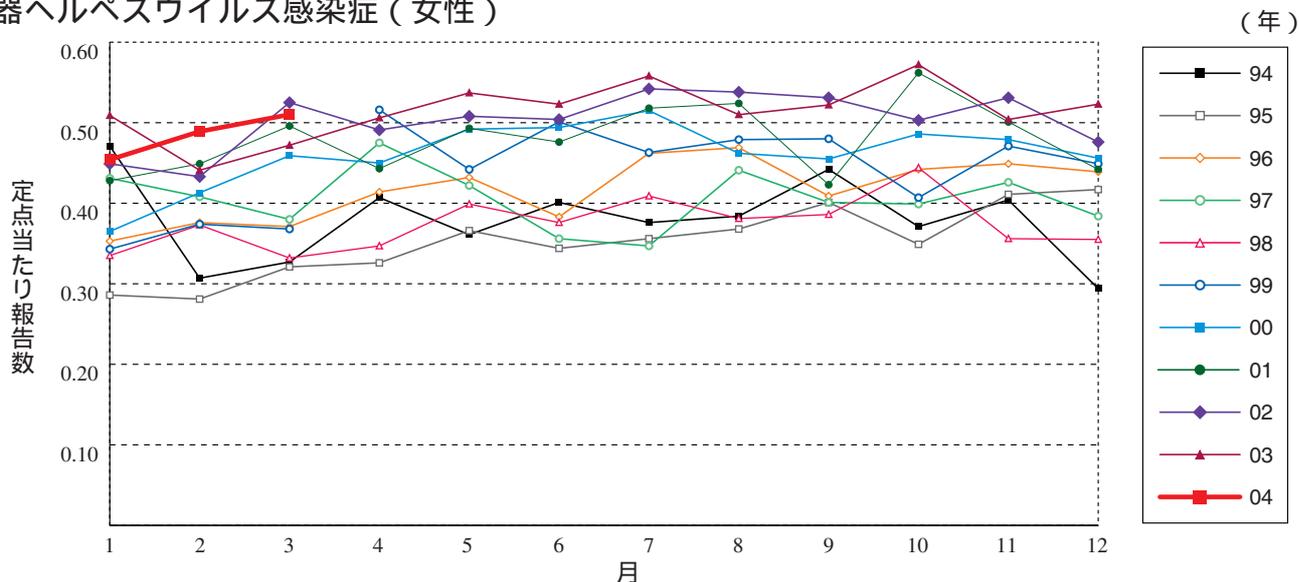
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



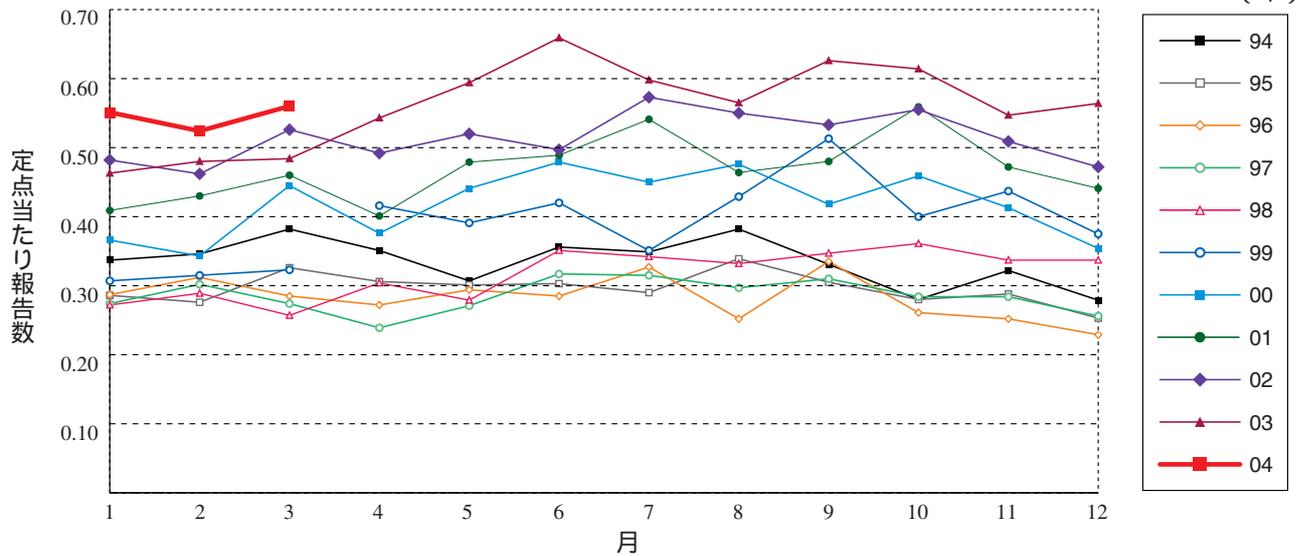
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



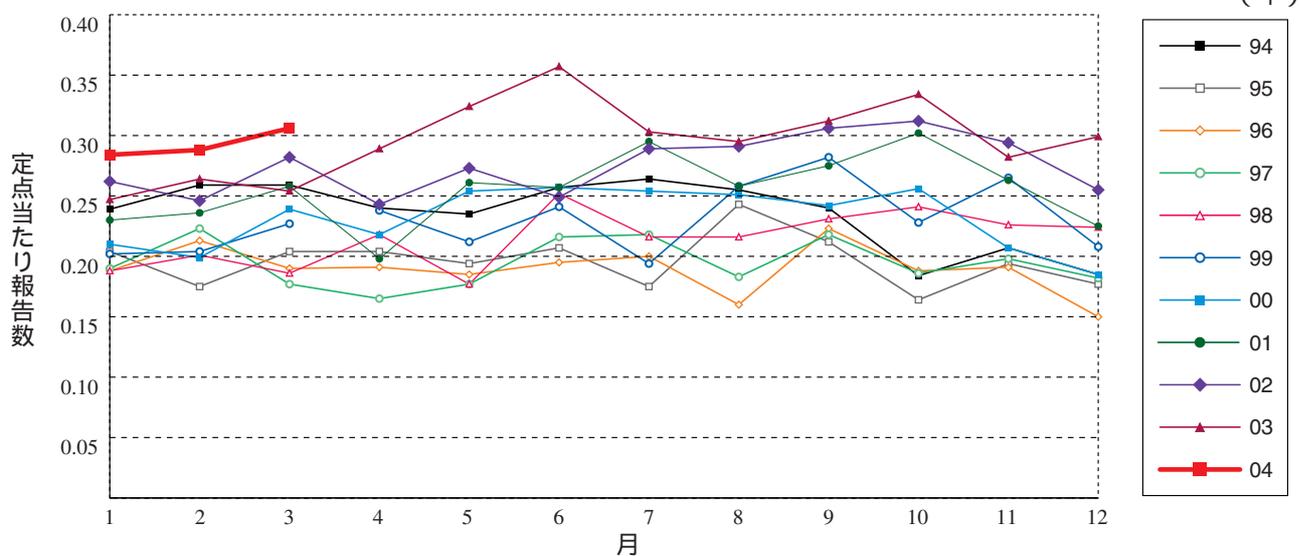
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



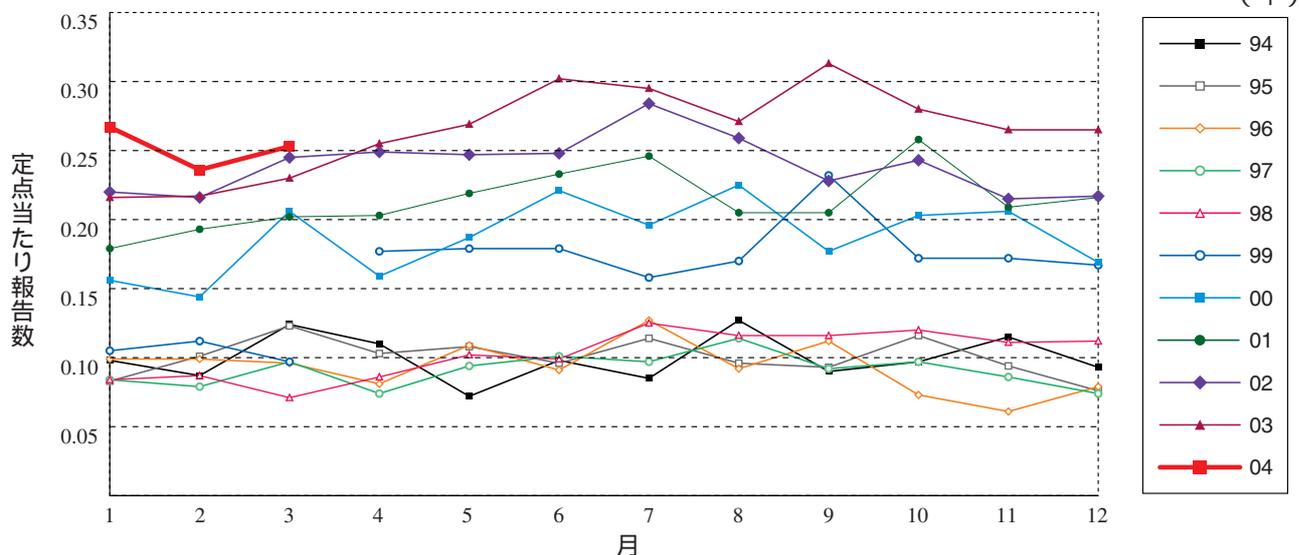
尖圭コンジローマ (総数)



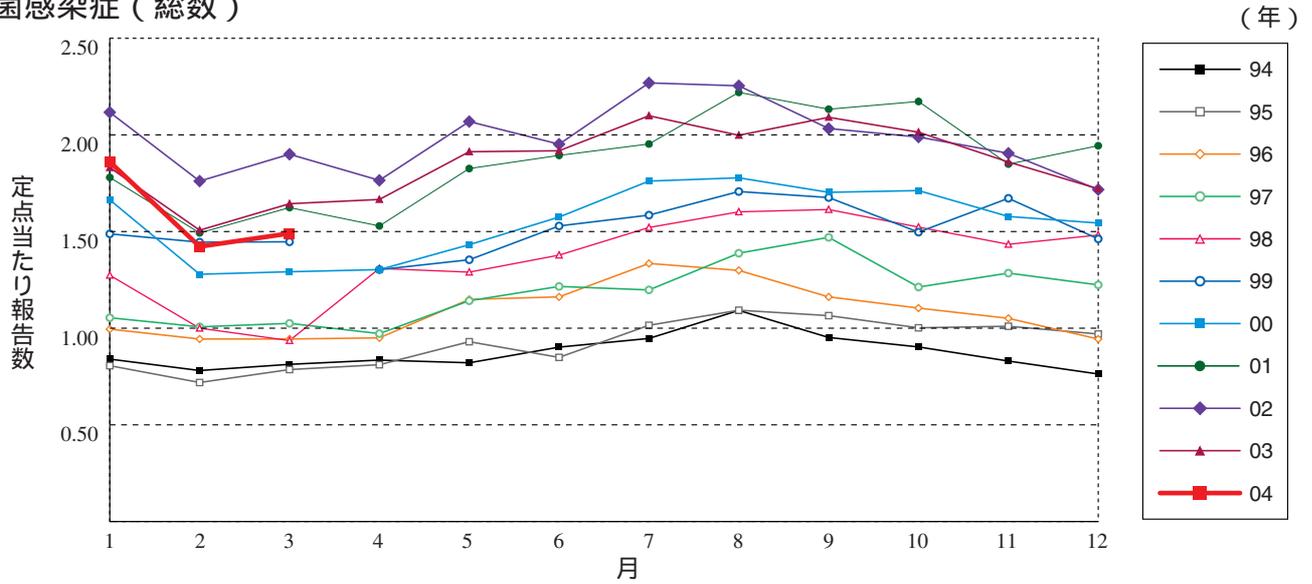
尖圭コンジローマ (男性)



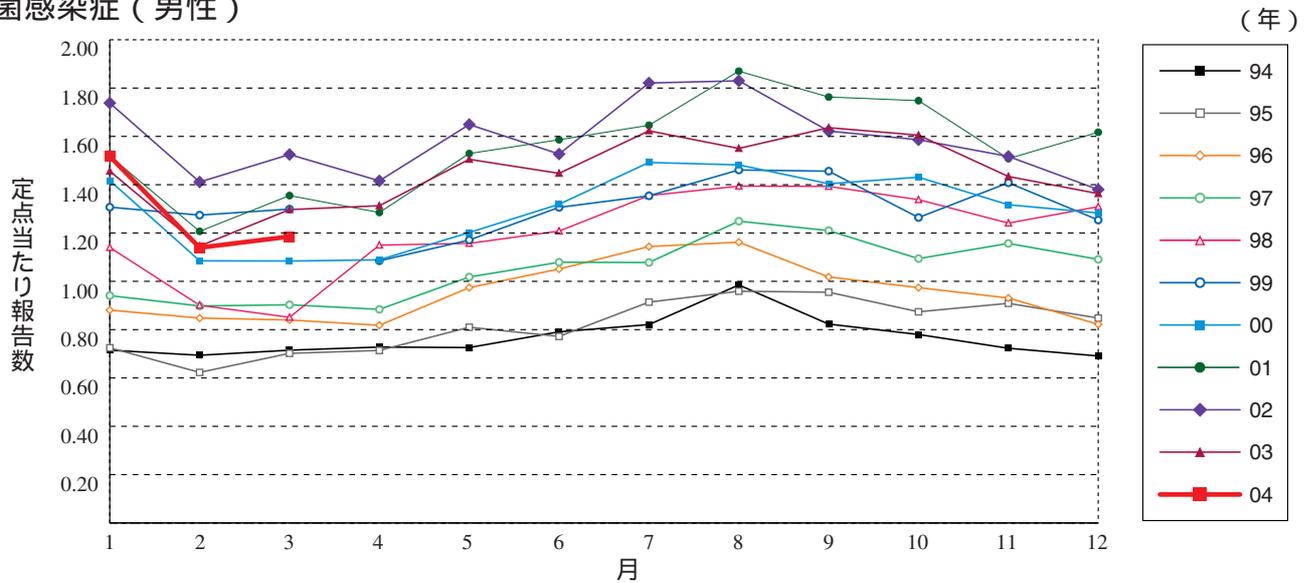
尖圭コンジローマ (女性)



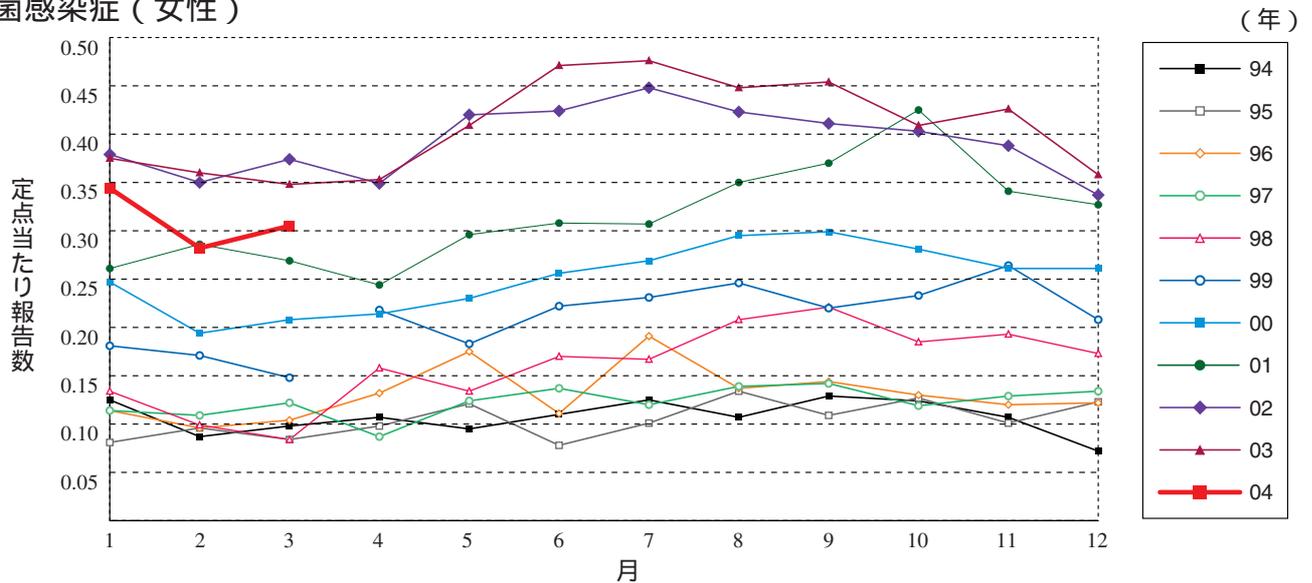
淋菌感染症（総数）



淋菌感染症（男性）

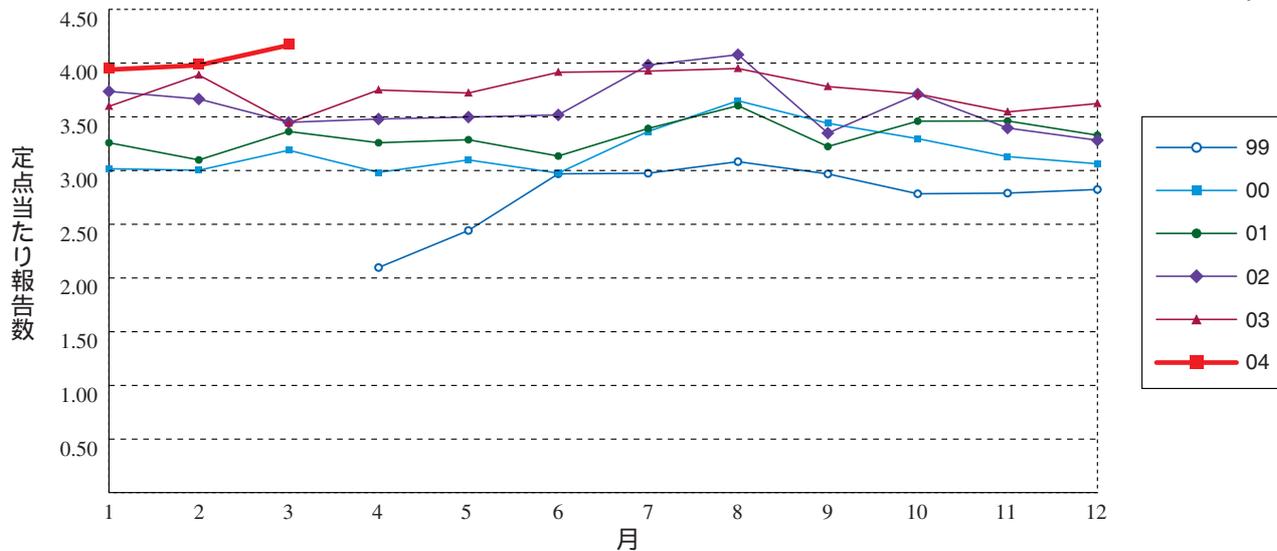


淋菌感染症（女性）



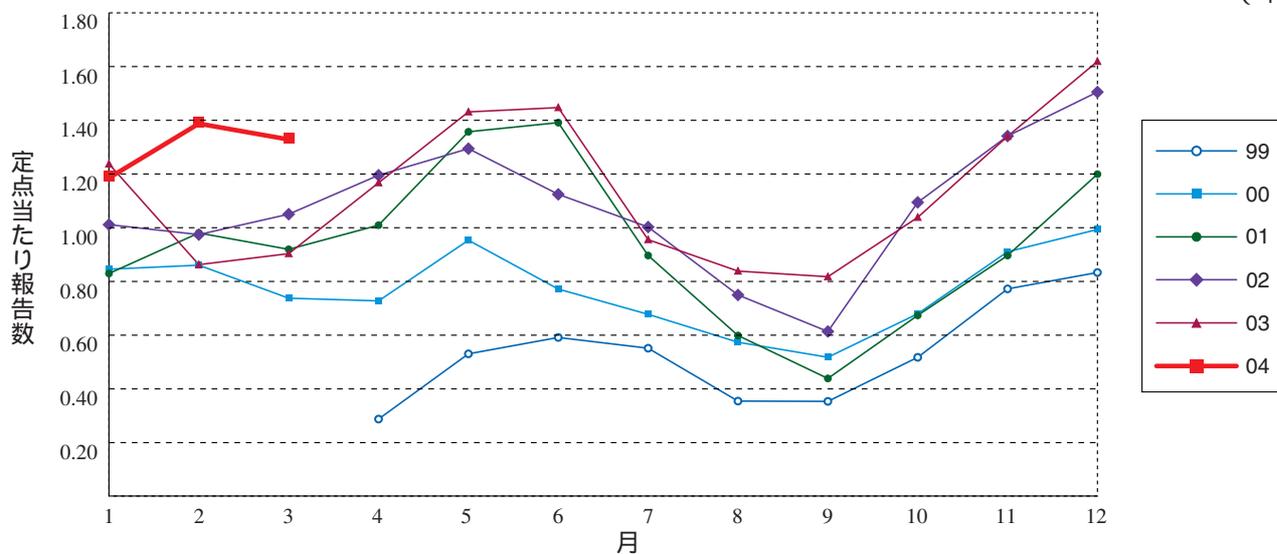
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



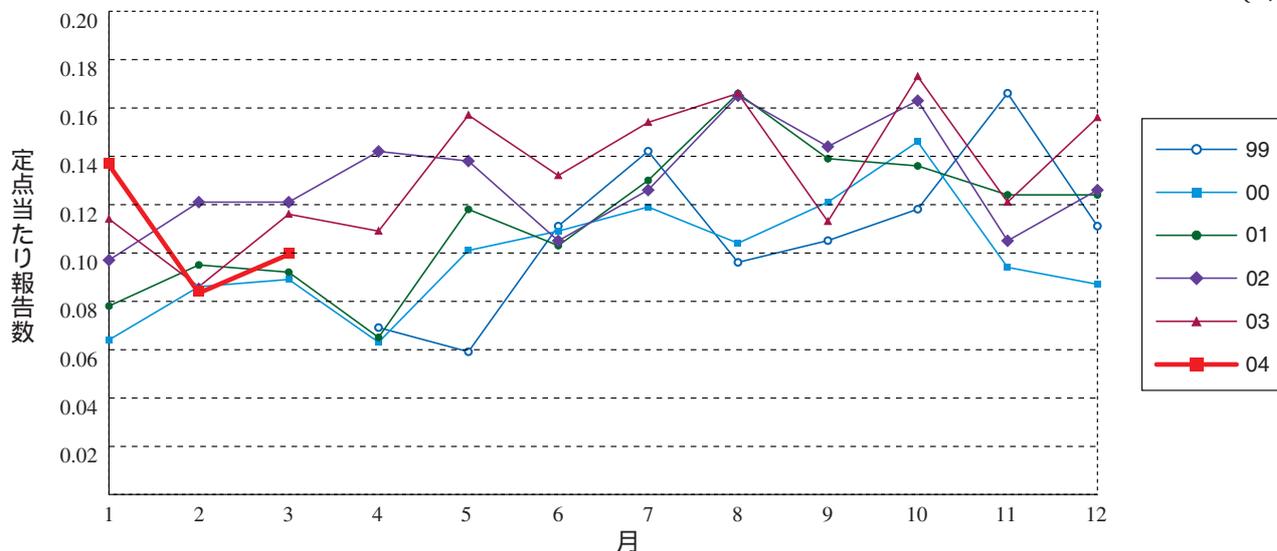
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





3月のデータ 注 4月15日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成16年3月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3088	3.34	811	0.88	517	0.56	1377	1.49	1965	4.18	627	1.33	47	0.10
北海道	251	5.98	45	1.07	37	0.88	99	2.36	40	1.67	7	0.29	-	-
青森県	44	3.38	6	0.46	5	0.38	24	1.85	8	1.33	-	-	-	-
岩手県	38	2.92	6	0.46	5	0.38	20	1.54	91	4.55	23	1.15	17	0.85
宮城県	64	3.56	34	1.89	26	1.44	32	1.78	44	3.67	21	1.75	2	0.17
秋田県	31	2.21	4	0.29	5	0.36	20	1.43	27	3.86	4	0.57	-	-
山形県	30	3.00	1	0.10	2	0.20	9	0.90	48	4.80	12	1.20	1	0.10
福島県	48	3.00	6	0.38	21	1.31	28	1.75	20	2.86	5	0.71	-	-
茨城県	109	5.19	19	0.90	9	0.43	21	1.00	13	1.30	-	-	1	0.10
栃木県	48	3.00	24	1.50	15	0.94	41	2.56	41	5.86	6	0.86	-	-
群馬県	152	6.08	13	0.52	17	0.68	39	1.56	33	3.30	9	0.90	-	-
埼玉県	152	3.04	41	0.82	26	0.52	48	0.96	38	4.22	1	0.11	2	0.22
千葉県	88	2.38	17	0.46	8	0.22	27	0.73	32	3.56	86	9.56	1	0.11
東京都	180	4.29	82	1.95	57	1.36	74	1.76	136	5.44	30	1.20	5	0.20
神奈川県	146	2.43	20	0.33	11	0.18	63	1.05	22	2.00	26	2.36	-	-
新潟県	38	1.90	7	0.35	3	0.15	34	1.70	69	5.31	17	1.31	1	0.08
富山県	24	3.43	3	0.43	3	0.43	19	2.71	49	9.80	49	9.80	1	0.20
石川県	29	2.90	4	0.40	3	0.30	8	0.80	11	2.20	4	0.80	1	0.20
福井県	13	2.60	2	0.40	3	0.60	3	0.60	20	2.50	15	1.88	1	0.13
山梨県	15	2.50	-	-	-	-	4	0.67	21	2.10	14	1.40	-	-
長野県	52	3.25	10	0.63	4	0.25	14	0.88	35	3.18	4	0.36	-	-
岐阜県	26	1.73	4	0.27	5	0.33	17	1.13	15	3.00	4	0.80	-	-
静岡県	68	2.27	25	0.83	7	0.23	14	0.47	71	7.10	21	2.10	-	-
愛知県	192	3.76	48	0.94	36	0.71	111	2.18	82	6.31	-	-	-	-
三重県	22	1.47	9	0.60	3	0.20	19	1.27	48	5.33	-	-	-	-
滋賀県	21	2.33	-	-	2	0.22	8	0.89	46	6.57	-	-	-	-
京都府	48	2.09	13	0.57	3	0.13	16	0.70	10	1.43	-	-	-	-
大阪府	282	4.70	153	2.55	78	1.30	172	2.87	31	2.21	1	0.07	-	-
兵庫県	99	2.11	13	0.28	20	0.43	47	1.00	43	3.07	5	0.36	-	-
奈良県	19	2.11	2	0.22	4	0.44	20	2.22	42	7.00	8	1.33	-	-
和歌山県	16	2.00	9	1.13	4	0.50	6	0.75	53	5.30	4	0.40	2	0.20
鳥取県	13	2.60	3	0.60	1	0.20	9	1.80	27	5.40	1	0.20	-	-
島根県	6	1.00	4	0.67	3	0.50	4	0.67	60	7.50	29	3.63	-	-
岡山県	72	3.79	18	0.95	13	0.68	41	2.16	20	4.00	4	0.80	-	-
広島県	66	2.44	8	0.30	12	0.44	10	0.37	124	5.90	63	3.00	8	0.38
山口県	37	3.08	5	0.42	2	0.17	12	1.00	98	12.25	37	4.63	1	0.13
徳島県	24	4.00	7	1.17	4	0.67	1	0.17	2	0.29	-	-	-	-
香川県	29	4.14	3	0.43	5	0.71	13	1.86	22	5.50	6	1.50	-	-
愛媛県	20	1.82	6	0.55	5	0.45	10	0.91	27	4.50	-	-	-	-
高知県	6	1.00	-	-	1	0.17	3	0.50	41	5.13	34	4.25	1	0.13
福岡県	180	4.86	36	0.97	24	0.65	79	2.14	24	1.60	8	0.53	1	0.07
佐賀県	20	2.86	10	1.43	1	0.14	10	1.43	38	6.33	16	2.67	-	-
長崎県	25	2.50	14	1.40	4	0.40	18	1.80	8	0.67	1	0.08	1	0.08
熊本県	81	5.79	25	1.79	1	0.07	30	2.14	76	5.07	12	0.80	-	-
大分県	12	1.20	15	1.50	5	0.50	10	1.00	49	4.90	20	2.00	-	-
宮崎県	32	2.91	8	0.73	3	0.27	19	1.73	32	4.57	11	1.57	-	-
鹿児島県	73	4.56	20	1.25	7	0.44	43	2.69	36	3.00	2	0.17	-	-
沖縄県	47	3.92	9	0.75	4	0.33	8	0.67	42	6.00	7	1.00	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成16年3月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1325	1.43	340	0.37	283	0.31	1095	1.19	1252	2.66	355	0.76	28	0.06
北海道	63	1.50	15	0.36	20	0.48	59	1.40	27	1.13	2	0.08	-	-
青森県	21	1.62	1	0.08	3	0.23	19	1.46	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	21	1.62	2	0.15	2	0.15	16	1.23	60	3.00	16	0.80	10	0.50
宮城県	34	1.89	8	0.44	20	1.11	31	1.72	25	2.08	13	1.08	1	0.08
秋田県	16	1.14	2	0.14	2	0.14	14	1.00	21	3.00	2	0.29	-	-
山形県	10	1.00	-	-	-	-	6	0.60	29	2.90	8	0.80	-	-
福島県	17	1.06	2	0.13	5	0.31	26	1.63	15	2.14	4	0.57	-	-
茨城県	54	2.57	7	0.33	7	0.33	19	0.90	12	1.20	-	-	-	-
栃木県	33	2.06	21	1.31	12	0.75	39	2.44	29	4.14	4	0.57	-	-
群馬県	84	3.36	5	0.20	10	0.40	31	1.24	24	2.40	6	0.60	-	-
埼玉県	44	0.88	16	0.32	10	0.20	37	0.74	24	2.67	1	0.11	1	0.11
千葉県	43	1.16	9	0.24	5	0.14	24	0.65	21	2.33	44	4.89	1	0.11
東京都	89	2.12	33	0.79	36	0.86	59	1.40	89	3.56	20	0.80	3	0.12
神奈川県	80	1.33	15	0.25	6	0.10	60	1.00	13	1.18	11	1.00	-	-
新潟県	23	1.15	2	0.10	3	0.15	32	1.60	43	3.31	12	0.92	1	0.08
富山県	16	2.29	1	0.14	-	-	16	2.29	37	7.40	30	6.00	-	-
石川県	11	1.10	2	0.20	2	0.20	6	0.60	9	1.80	1	0.20	1	0.20
福井県	7	1.40	2	0.40	3	0.60	3	0.60	16	2.00	6	0.75	-	-
山梨県	1	0.17	-	-	-	-	2	0.33	20	2.00	10	1.00	-	-
長野県	23	1.44	5	0.31	3	0.19	12	0.75	23	2.09	3	0.27	-	-
岐阜県	15	1.00	2	0.13	4	0.27	17	1.13	8	1.60	1	0.20	-	-
静岡県	26	0.87	12	0.40	3	0.10	14	0.47	37	3.70	10	1.00	-	-
愛知県	107	2.10	29	0.57	22	0.43	103	2.02	54	4.15	-	-	-	-
三重県	12	0.80	6	0.40	2	0.13	19	1.27	29	3.22	-	-	-	-
滋賀県	6	0.67	-	-	1	0.11	6	0.67	25	3.57	-	-	-	-
京都府	9	0.39	3	0.13	1	0.04	5	0.22	7	1.00	-	-	-	-
大阪府	84	1.40	62	1.03	43	0.72	123	2.05	20	1.43	1	0.07	-	-
兵庫県	54	1.15	10	0.21	15	0.32	42	0.89	26	1.86	4	0.29	-	-
奈良県	15	1.67	2	0.22	3	0.33	18	2.00	27	4.50	5	0.83	-	-
和歌山県	12	1.50	5	0.63	4	0.50	6	0.75	37	3.70	4	0.40	1	0.10
鳥取県	-	-	3	0.60	-	-	5	1.00	14	2.80	-	-	-	-
島根県	6	1.00	1	0.17	1	0.17	4	0.67	42	5.25	19	2.38	-	-
岡山県	27	1.42	3	0.16	6	0.32	32	1.68	12	2.40	2	0.40	-	-
広島県	18	0.67	2	0.07	1	0.04	7	0.26	76	3.62	34	1.62	7	0.33
山口県	14	1.17	-	-	-	-	11	0.92	63	7.88	19	2.38	-	-
徳島県	19	3.17	6	1.00	4	0.67	-	-	2	0.29	-	-	-	-
香川県	10	1.43	3	0.43	4	0.57	12	1.71	10	2.50	3	0.75	-	-
愛媛県	2	0.18	2	0.18	2	0.18	9	0.82	22	3.67	-	-	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	1	0.17	25	3.13	19	2.38	1	0.13
福岡県	86	2.32	14	0.38	9	0.24	63	1.70	15	1.00	1	0.07	1	0.07
佐賀県	15	2.14	2	0.29	-	-	10	1.43	22	3.67	11	1.83	-	-
長崎県	5	0.50	1	0.10	1	0.10	11	1.10	6	0.50	1	0.08	-	-
熊本県	26	1.86	13	0.93	-	-	15	1.07	39	2.60	6	0.40	-	-
大分県	5	0.50	4	0.40	2	0.20	6	0.60	27	2.70	14	1.40	-	-
宮崎県	16	1.45	-	-	3	0.27	16	1.45	18	2.57	4	0.57	-	-
鹿児島県	40	2.50	6	0.38	3	0.19	25	1.56	20	1.67	-	-	-	-
沖縄県	5	0.42	1	0.08	-	-	4	0.33	29	4.14	4	0.57	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成16年3月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1763	1.91	471	0.51	234	0.25	282	0.31	713	1.52	272	0.58	19	0.04
北海道	188	4.48	30	0.71	17	0.40	40	0.95	13	0.54	5	0.21	-	-
青森県	23	1.77	5	0.38	2	0.15	5	0.38	5	0.83	-	-	-	-
岩手県	17	1.31	4	0.31	3	0.23	4	0.31	31	1.55	7	0.35	7	0.35
宮城県	30	1.67	26	1.44	6	0.33	1	0.06	19	1.58	8	0.67	1	0.08
秋田県	15	1.07	2	0.14	3	0.21	6	0.43	6	0.86	2	0.29	-	-
山形県	20	2.00	1	0.10	2	0.20	3	0.30	19	1.90	4	0.40	1	0.10
福島県	31	1.94	4	0.25	16	1.00	2	0.13	5	0.71	1	0.14	-	-
茨城県	55	2.62	12	0.57	2	0.10	2	0.10	1	0.10	-	-	1	0.10
栃木県	15	0.94	3	0.19	3	0.19	2	0.13	12	1.71	2	0.29	-	-
群馬県	68	2.72	8	0.32	7	0.28	8	0.32	9	0.90	3	0.30	-	-
埼玉県	108	2.16	25	0.50	16	0.32	11	0.22	14	1.56	-	-	1	0.11
千葉県	45	1.22	8	0.22	3	0.08	3	0.08	11	1.22	42	4.67	-	-
東京都	91	2.17	49	1.17	21	0.50	15	0.36	47	1.88	10	0.40	2	0.08
神奈川県	66	1.10	5	0.08	5	0.08	3	0.05	9	0.82	15	1.36	-	-
新潟県	15	0.75	5	0.25	-	-	2	0.10	26	2.00	5	0.38	-	-
富山県	8	1.14	2	0.29	3	0.43	3	0.43	12	2.40	19	3.80	1	0.20
石川県	18	1.80	2	0.20	1	0.10	2	0.20	2	0.40	3	0.60	-	-
福井県	6	1.20	-	-	-	-	-	-	4	0.50	9	1.13	1	0.13
山梨県	14	2.33	-	-	-	-	2	0.33	1	0.10	4	0.40	-	-
長野県	29	1.81	5	0.31	1	0.06	2	0.13	12	1.09	1	0.09	-	-
岐阜県	11	0.73	2	0.13	1	0.07	-	-	7	1.40	3	0.60	-	-
静岡県	42	1.40	13	0.43	4	0.13	-	-	34	3.40	11	1.10	-	-
愛知県	85	1.67	19	0.37	14	0.27	8	0.16	28	2.15	-	-	-	-
三重県	10	0.67	3	0.20	1	0.07	-	-	19	2.11	-	-	-	-
滋賀県	15	1.67	-	-	1	0.11	2	0.22	21	3.00	-	-	-	-
京都府	39	1.70	10	0.43	2	0.09	11	0.48	3	0.43	-	-	-	-
大阪府	198	3.30	91	1.52	35	0.58	49	0.82	11	0.79	-	-	-	-
兵庫県	45	0.96	3	0.06	5	0.11	5	0.11	17	1.21	1	0.07	-	-
奈良県	4	0.44	-	-	1	0.11	2	0.22	15	2.50	3	0.50	-	-
和歌山県	4	0.50	4	0.50	-	-	-	-	16	1.60	-	-	1	0.10
鳥取県	13	2.60	-	-	1	0.20	4	0.80	13	2.60	1	0.20	-	-
島根県	-	-	3	0.50	2	0.33	-	-	18	2.25	10	1.25	-	-
岡山県	45	2.37	15	0.79	7	0.37	9	0.47	8	1.60	2	0.40	-	-
広島県	48	1.78	6	0.22	11	0.41	3	0.11	48	2.29	29	1.38	1	0.05
山口県	23	1.92	5	0.42	2	0.17	1	0.08	35	4.38	18	2.25	1	0.13
徳島県	5	0.83	1	0.17	-	-	1	0.17	-	-	-	-	-	-
香川県	19	2.71	-	-	1	0.14	1	0.14	12	3.00	3	0.75	-	-
愛媛県	18	1.64	4	0.36	3	0.27	1	0.09	5	0.83	-	-	-	-
高知県	5	0.83	-	-	1	0.17	2	0.33	16	2.00	15	1.88	-	-
福岡県	94	2.54	22	0.59	15	0.41	16	0.43	9	0.60	7	0.47	-	-
佐賀県	5	0.71	8	1.14	1	0.14	-	-	16	2.67	5	0.83	-	-
長崎県	20	2.00	13	1.30	3	0.30	7	0.70	2	0.17	-	-	1	0.08
熊本県	55	3.93	12	0.86	1	0.07	15	1.07	37	2.47	6	0.40	-	-
大分県	7	0.70	11	1.10	3	0.30	4	0.40	22	2.20	6	0.60	-	-
宮崎県	16	1.45	8	0.73	-	-	3	0.27	14	2.00	7	1.00	-	-
鹿児島県	33	2.06	14	0.88	4	0.25	18	1.13	16	1.33	2	0.17	-	-
沖縄県	42	3.50	8	0.67	4	0.33	4	0.33	13	1.86	3	0.43	-	-

注 4月22日集計分

新登録患者数・都道府県別

平成16年3月

	結 核
	報告数
総 数	2569
北海道	84
青森県	29
岩手県	23
宮城県	25
秋田県	15
山形県	13
福島県	28
茨城県	58
栃木県	27
群馬県	25
埼玉県	113
千葉県	124
東京都	292
神奈川県	151
新潟県	32
富山県	16
石川県	22
福井県	13
山梨県	5
長野県	21
岐阜県	40
静岡県	70
愛知県	191
三重県	37
滋賀県	21
京都府	60
大阪府	288
兵庫県	125
奈良県	37
和歌山県	27
鳥取県	16
島根県	7
岡山県	39
広島県	51
山口県	17
徳島県	11
香川県	26
愛媛県	27
高知県	11
福岡県	105
佐賀県	19
長崎県	45
熊本県	30
大分県	34
宮崎県	25
鹿児島県	48
沖縄県	46



16週のデータ

注)表中の報告数は4月22日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年16週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	12	116	2	11	1	9	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	-	1	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	35	-	1	1	2	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1	2	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	2	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年16週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	43	180	6	163	-	10	-	-	3	9	-	-	5	77
北海道	-	-	-	-	-	3	-	4	-	10	-	-	-	-	-	-	1	2
青森県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2	7	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	6	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	1	20	2	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
神奈川県	-	-	-	-	2	4	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	6	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	2	-	9	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	5	1	11	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3
三重県	-	-	-	-	5	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	2	19	1	16	-	-	-	-	2	3	-	-	-	7
兵庫県	-	-	-	-	-	4	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
奈良県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	7	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	10	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	1	6	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
大分県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年16週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	1	2	49	2	16	16	271	-	1	-	18	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	9	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	9	115	-	-	-	6	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	19	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	6	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	1	29	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年16週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	8	-	2	-	-	4	57	-	5	-	1	-	1	3	131	-	14
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
東京都	-	2	-	1	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	2	19	-	1
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	8	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	2	27	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年16週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	3	15	-	-	-	-	-	-	-	-	16	1	2	-	25	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2	
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
大阪府	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
山口県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年16週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	7	-	-	1	52	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年16週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	3	19	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年16週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1524	0.32	933	0.31	5459	1.79	21963	7.22	5590	1.84	208	0.07	1487	0.49	2407	0.79	39	0.01
北海道	145	0.64	25	0.17	366	2.56	573	4.01	190	1.33	11	0.08	53	0.37	102	0.71	2	0.01
青森県	19	0.30	13	0.31	84	2.00	248	5.90	62	1.48	1	0.02	10	0.24	24	0.57	-	-
岩手県	4	0.06	-	-	62	1.63	118	3.11	36	0.95	-	-	15	0.39	20	0.53	-	-
宮城県	18	0.20	10	0.17	203	3.44	486	8.24	125	2.12	-	-	47	0.80	60	1.02	-	-
秋田県	37	0.67	5	0.14	116	3.31	309	8.83	38	1.09	1	0.03	-	-	15	0.43	1	0.03
山形県	9	0.19	9	0.30	111	3.70	281	9.37	25	0.83	-	-	22	0.73	31	1.03	-	-
福島県	21	0.26	23	0.48	74	1.54	449	9.35	71	1.48	-	-	6	0.13	51	1.06	-	-
茨城県	2	0.02	23	0.31	234	3.16	357	4.82	137	1.85	2	0.03	7	0.09	35	0.47	1	0.01
栃木県	3	0.04	6	0.13	73	1.59	249	5.41	51	1.11	-	-	13	0.28	22	0.48	1	0.02
群馬県	5	0.05	3	0.05	96	1.55	292	4.71	72	1.16	-	-	38	0.61	46	0.74	1	0.02
埼玉県	16	0.06	45	0.28	402	2.54	1083	6.85	308	1.95	8	0.05	126	0.80	146	0.92	-	-
千葉県	20	0.10	52	0.40	306	2.34	837	6.39	356	2.72	18	0.14	137	1.05	124	0.95	-	-
東京都	4	0.02	34	0.24	204	1.44	722	5.08	172	1.21	2	0.01	101	0.71	77	0.54	-	-
神奈川県	17	0.05	74	0.36	374	1.82	1298	6.30	401	1.95	7	0.03	179	0.87	168	0.82	2	0.01
新潟県	19	0.19	29	0.48	287	4.78	755	12.58	110	1.83	1	0.02	69	1.15	52	0.87	-	-
富山県	6	0.13	32	1.10	93	3.21	447	15.41	68	2.34	-	-	20	0.69	23	0.79	-	-
石川県	18	0.38	17	0.59	60	2.07	456	15.72	69	2.38	8	0.28	23	0.79	19	0.66	-	-
福井県	12	0.38	15	0.68	74	3.36	539	24.50	50	2.27	1	0.05	19	0.86	17	0.77	-	-
山梨県	2	0.05	-	-	57	2.28	121	4.84	24	0.96	-	-	8	0.32	6	0.24	2	0.08
長野県	75	0.86	4	0.07	97	1.76	470	8.55	51	0.93	1	0.02	25	0.45	32	0.58	-	-
岐阜県	40	0.48	13	0.25	66	1.25	163	3.08	85	1.60	1	0.02	7	0.13	26	0.49	1	0.02
静岡県	24	0.18	10	0.12	113	1.31	609	7.08	235	2.73	4	0.05	59	0.69	78	0.91	1	0.01
愛知県	114	0.58	85	0.47	265	1.46	787	4.32	281	1.54	19	0.10	102	0.56	141	0.77	7	0.04
三重県	10	0.14	21	0.47	122	2.71	442	9.82	59	1.31	1	0.02	13	0.29	54	1.20	-	-
滋賀県	11	0.22	1	0.03	20	0.61	235	7.12	40	1.21	3	0.09	8	0.24	23	0.70	-	-
京都府	3	0.02	1	0.01	105	1.38	537	7.07	65	0.86	5	0.07	22	0.29	48	0.63	-	-
大阪府	18	0.06	25	0.13	197	1.01	1182	6.06	341	1.75	13	0.07	81	0.42	127	0.65	5	0.03
兵庫県	30	0.15	31	0.24	142	1.11	1161	9.07	262	2.05	35	0.27	52	0.41	117	0.91	1	0.01
奈良県	3	0.07	22	0.63	32	0.91	216	6.17	52	1.49	1	0.03	7	0.20	25	0.71	-	-
和歌山県	-	-	12	0.39	20	0.65	229	7.39	54	1.74	-	-	21	0.68	27	0.87	-	-
鳥取県	13	0.45	18	0.95	56	2.95	293	15.42	42	2.21	-	-	-	-	18	0.95	-	-
島根県	48	1.26	17	0.74	9	0.39	264	11.48	40	1.74	1	0.04	5	0.22	21	0.91	1	0.04
岡山県	5	0.06	23	0.43	61	1.13	367	6.80	100	1.85	-	-	8	0.15	37	0.69	-	-
広島県	202	1.68	41	0.55	103	1.37	894	11.92	75	1.00	-	-	32	0.43	40	0.53	2	0.03
山口県	44	0.63	18	0.37	58	1.18	499	10.18	118	2.41	3	0.06	6	0.12	46	0.94	1	0.02
徳島県	5	0.13	22	0.96	20	0.87	137	5.96	36	1.57	-	-	2	0.09	17	0.74	1	0.04
香川県	-	-	5	0.16	26	0.81	168	5.25	55	1.72	-	-	3	0.09	18	0.56	1	0.03
愛媛県	2	0.03	24	0.62	68	1.74	395	10.13	91	2.33	-	-	16	0.41	45	1.15	-	-
高知県	2	0.04	4	0.13	55	1.77	121	3.90	58	1.87	1	0.03	3	0.10	12	0.39	-	-
福岡県	181	0.91	23	0.19	260	2.17	1112	9.27	324	2.70	23	0.19	34	0.28	143	1.19	6	0.05
佐賀県	7	0.18	5	0.22	31	1.35	136	5.91	65	2.83	5	0.22	-	-	26	1.13	-	-
長崎県	57	0.81	8	0.18	32	0.73	287	6.52	66	1.50	-	-	14	0.32	40	0.91	-	-
熊本県	27	0.33	14	0.29	63	1.29	348	7.10	113	2.31	3	0.06	5	0.10	43	0.88	1	0.02
大分県	46	0.79	8	0.22	33	0.92	376	10.44	64	1.78	-	-	32	0.89	42	1.17	-	-
宮崎県	47	0.80	52	1.44	77	2.14	585	16.25	186	5.17	3	0.08	13	0.36	63	1.75	-	-
鹿児島県	23	0.24	10	0.18	37	0.65	298	5.23	176	3.09	5	0.09	11	0.19	42	0.74	1	0.02
沖縄県	110	1.90	1	0.03	15	0.44	32	0.94	91	2.68	21	0.62	13	0.38	18	0.53	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年16週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	232	0.08	247	0.08	50	0.02	1993	0.66	14	0.02	553	0.87	2	0.00	13	0.03	57	0.12
北海道	2	0.01	1	0.01	2	0.01	75	0.52	-	-	14	0.48	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	4	0.10	-	-	31	0.74	-	-	3	0.27	1	0.17	-	-	3	0.50
岩手県	-	-	4	0.11	-	-	15	0.39	-	-	9	0.75	-	-	-	-	2	0.10
宮城県	10	0.17	-	-	-	-	28	0.47	-	-	1	0.09	-	-	3	0.25	4	0.33
秋田県	1	0.03	1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.14
山形県	2	0.07	-	-	-	-	3	0.10	-	-	7	0.88	-	-	2	0.20	5	0.50
福島県	1	0.02	1	0.02	2	0.04	16	0.33	-	-	16	1.33	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	1	0.01	-	-	6	0.08	12	0.16	-	-	34	2.13	-	-	-	-	-	-
栃木県	9	0.20	-	-	4	0.09	6	0.13	1	0.08	6	0.50	-	-	-	-	-	-
群馬県	33	0.53	2	0.03	1	0.02	59	0.95	-	-	20	1.43	-	-	-	-	4	0.40
埼玉県	22	0.14	6	0.04	4	0.03	129	0.82	-	-	19	0.51	-	-	-	-	-	-
千葉県	6	0.05	3	0.02	3	0.02	95	0.73	3	0.09	25	0.74	-	-	-	-	-	-
東京都	11	0.08	6	0.04	4	0.03	40	0.28	1	0.07	13	0.93	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	22	0.11	10	0.05	1	0.00	119	0.58	1	0.02	37	0.88	-	-	-	-	-	-
新潟県	4	0.07	1	0.02	3	0.05	61	1.02	-	-	1	0.11	-	-	1	0.08	4	0.33
富山県	-	-	-	-	-	-	11	0.38	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	8	0.28	-	-	7	0.24	-	-	3	0.43	-	-	1	0.20	-	-
福井県	1	0.05	-	-	-	-	12	0.55	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	7	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.20
長野県	1	0.02	-	-	-	-	12	0.22	-	-	5	0.45	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	-	-	34	0.64	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	3	0.03	-	-	94	1.09	-	-	2	0.10	-	-	1	0.10	1	0.10
愛知県	3	0.02	13	0.07	1	0.01	220	1.21	1	0.03	33	0.94	-	-	-	-	6	0.46
三重県	1	0.02	-	-	1	0.02	15	0.33	-	-	4	0.33	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	4	0.12	8	0.24	1	0.03	13	0.39	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.14
京都府	6	0.08	7	0.09	-	-	33	0.43	1	0.05	10	0.53	-	-	-	-	-	-
大阪府	10	0.05	26	0.13	1	0.01	125	0.64	-	-	28	0.57	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	2	0.02	18	0.14	9	0.07	160	1.25	1	0.03	40	1.14	-	-	-	-	3	0.23
奈良県	1	0.03	2	0.06	1	0.03	17	0.49	-	-	9	1.00	-	-	2	0.33	-	-
和歌山県	-	-	17	0.55	-	-	36	1.16	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	6	0.32	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	3	0.13	-	-	8	0.35	-	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-
岡山県	2	0.04	4	0.07	-	-	23	0.43	-	-	9	0.75	-	-	-	-	1	0.20
広島県	4	0.05	15	0.20	-	-	65	0.87	-	-	28	1.40	-	-	-	-	5	0.26
山口県	1	0.02	5	0.10	-	-	91	1.86	-	-	8	0.89	-	-	-	-	1	0.11
徳島県	-	-	2	0.09	3	0.13	3	0.13	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	3	0.09	-	-	7	0.22	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	16	0.41	-	-	18	0.46	-	-	10	1.43	-	-	-	-	2	0.33
高知県	1	0.03	1	0.03	1	0.03	30	0.97	-	-	5	1.67	-	-	1	0.11	1	0.11
福岡県	17	0.14	13	0.11	2	0.02	133	1.11	-	-	13	0.50	-	-	-	-	-	-
佐賀県	1	0.04	-	-	-	-	40	1.74	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
長崎県	2	0.05	-	-	-	-	7	0.16	4	0.50	2	0.25	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	1	0.02	27	0.55	-	-	16	0.33	-	-	10	1.11	-	-	1	0.07	-	-
大分県	19	0.53	4	0.11	-	-	25	0.69	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	3	0.08	-	-	16	0.44	1	0.25	6	1.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	21	0.37	2	0.04	-	-	14	0.25	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
沖縄県	8	0.24	6	0.18	-	-	6	0.18	-	-	86	8.60	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年16週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	2	0.00	50
北海道	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	0.14	9
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	...
千葉県	1	0.08	-	-	-
東京都	-	-	1	0.04	1
神奈川県	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	1
山梨県	1	0.10	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	...
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	...
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	4
福岡県	1	0.07	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第16号 平成16年5月6日発行
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。